

SAFF

データの力で。

農林水産統計

Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries

図表でみる

中国四国農林水産業の概要



令和7年8月

農林水産省

中国四国農政局

利用上の注意

- 1 本資料は、中国四国地域における農林水産業の現状が概観できるよう、農林水産省で実施した農林水産統計調査結果から主要な統計を用い、地域・県別に図表化しています。
- 2 図表に表示した統計数値は、原則として単位未満の数値を四捨五入しているため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が100%にならない場合があります。
- 3 本資料に用いた農林水産統計調査結果のうち、秘密保護上統計数値を公表していない品目等がある場合、当該品目等を除いて編集しています。
- 4 今後、本資料に用いた農林水産統計調査結果の最新値又は訂正值が公表された際は、本資料を更新する予定ですが、リアルタイムで更新される仕組みではありません。このため、ご利用に当たっては、必要に応じて各ページに「資料」として記載している調査結果をご確認ください。

本資料に用いた農林水産統計調査結果の詳細は、農林水産省ホームページの「統計情報」のページでご覧いただけます。【<https://www.maff.go.jp/j/tokei/>】

【お問合せ先】

中国四国農政局 統計部 統計企画課

電 話：（代 表）086-224-4511 内線：2721、2727
（時間外）086-224-9426

メー ル：support_cs_stat@maff.go.jp

図表でみる 中国四国農林水産業の概要

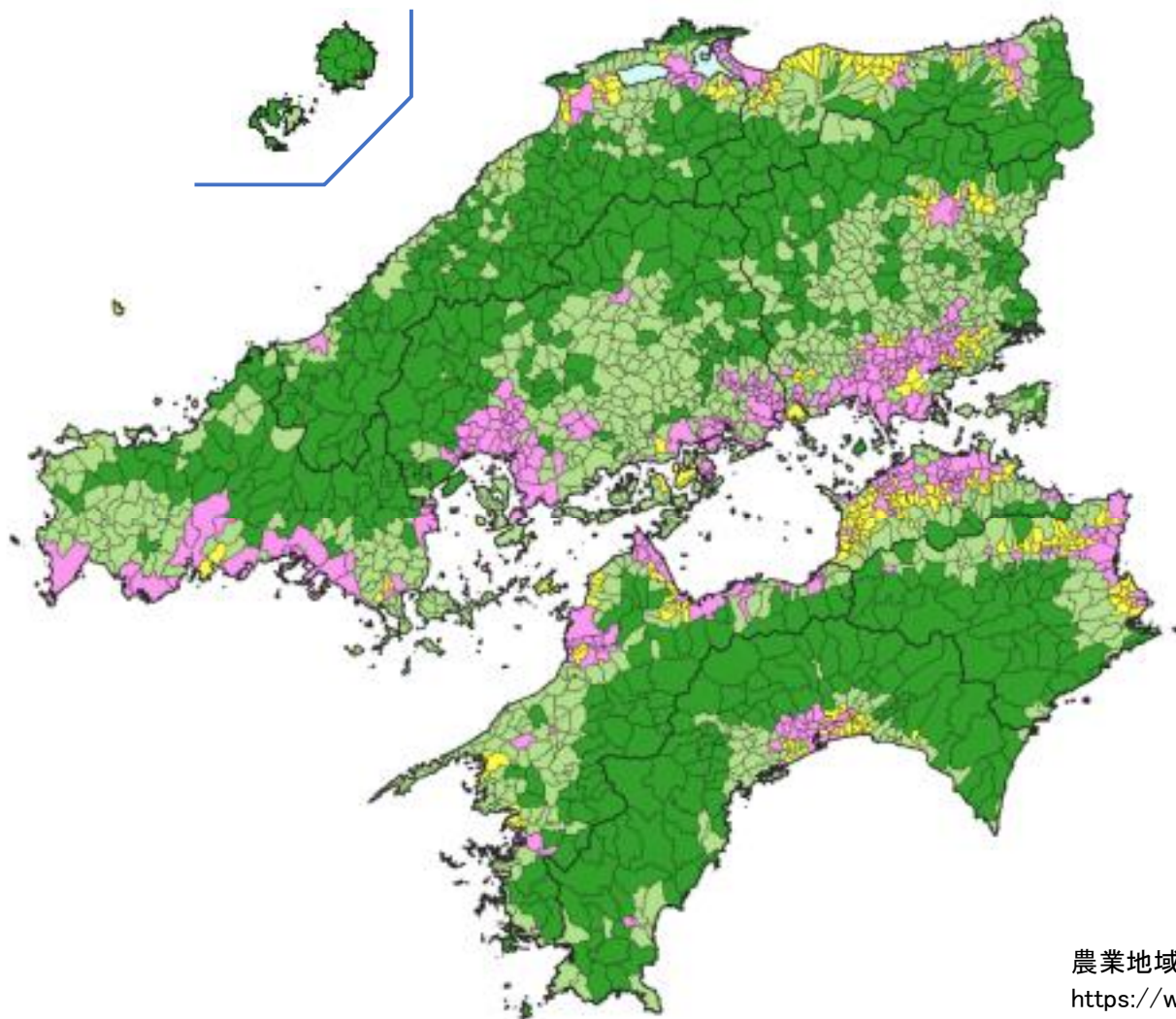
目 次

掲 載 項 目	ページ	最終更新日	掲 載 項 目	ページ	最終更新日
農業構造編			農業生産編(続き)		
中国四国地域の農業地域類型区分	1	令和6年5月28日	畜産（乳用牛）	21	令和7年8月5日
耕地面積	2	令和6年12月20日	畜産（肉用牛）	22	令和7年8月5日
農業経営体	3	令和6年5月28日	畜産（豚）	23	令和7年は農林業センサス実施年 のため、畜産統計調査を休止して おり、データは未更新です。
農業労働力	4	令和6年5月28日	畜産（採卵鶏）	24	
集落営農	6	令和7年6月13日	畜産（ブロイラー）	25	
農業経営編			林業編		
農業産出額	7	令和7年1月20日	林業経営体と保有山林面積	26	令和6年5月28日
農業産出額（各県の主要農畜産物（上位10品目））	8	令和7年2月26日	林業産出額	27	令和7年8月5日
農業生産編			各県における主な林産物生産量	28	令和7年5月9日
水稻（子実用）	9	令和6年12月20日	水産業編		
小麦（子実用）	10	令和7年5月9日	海面漁業経営体数及び漁業就業者数	29	令和6年12月20日
大豆（乾燥子実）	11	令和7年5月9日	海面漁業経営体数（営んだ漁業種類・養殖種類別）	30	令和6年12月20日
野菜（ねぎ）	12	令和7年1月20日	資源管理・漁場改善の取組（海面漁業）	31	令和6年12月20日
野菜（ブロッコリー）	13	令和7年1月20日	内水面漁業経営体数及び従事者数	32	令和6年12月20日
野菜（きゅうり）	14	令和7年1月20日	内水面漁業経営体数（営んだ漁業種類・養殖種類別）	33	令和6年12月20日
野菜（なす）	15	令和7年1月20日	魚市場数及び年間取扱高	34	令和6年12月20日
野菜（トマト）	16	令和7年1月20日	冷凍・冷蔵工場数及び従業者数	35	令和6年12月20日
果樹（みかん）	17	令和7年6月13日	水産加工場数及び従業者数	36	令和6年12月20日
果樹（日本なし）	18	令和7年6月13日	漁業産出額（海面漁業・海面養殖業）	37	令和7年3月28日
果樹（かき）	19	令和7年6月13日	漁業生産量（各県の主な魚種（上位5魚種））	38	令和7年5月9日
果樹（ぶどう）	20	令和7年6月13日			

中国四国地域の農業地域類型区分

中国四国地域は、農業生産において条件不利とされる中山間農業地域が非常に多くっており、旧市区町村（昭和25年2月1日時点における市区町村）単位でみると、中間農業地域（938市区町村）と山間農業地域（588市区町村）を合わせた、中山間農業地域（1,526市区町村）が全体の約7割を占めています。

旧市区町村ごとの農業地域類型区分(令和5年改訂)



農業地域類型区分別旧市区町村数

計	2,166 (100.0 %)
都市的地域	378 (17.5 %)
平地農業地域	262 (12.1 %)
中間農業地域	938 (43.3 %)
山間農業地域	588 (27.1 %)

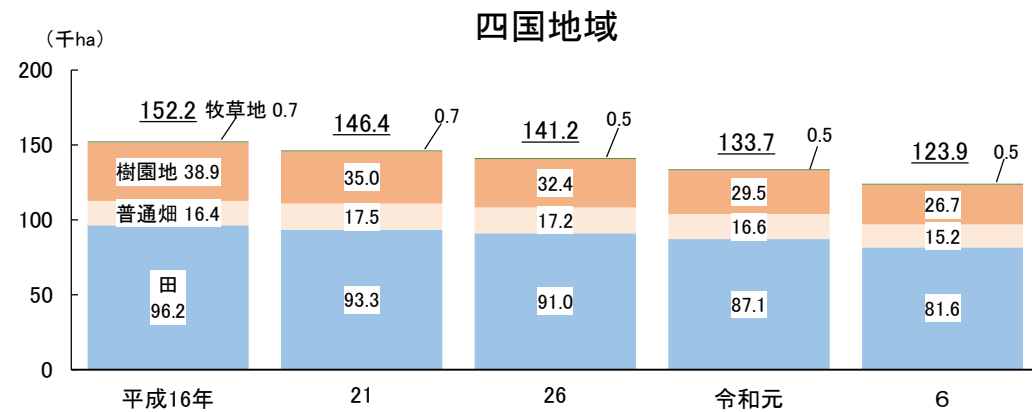
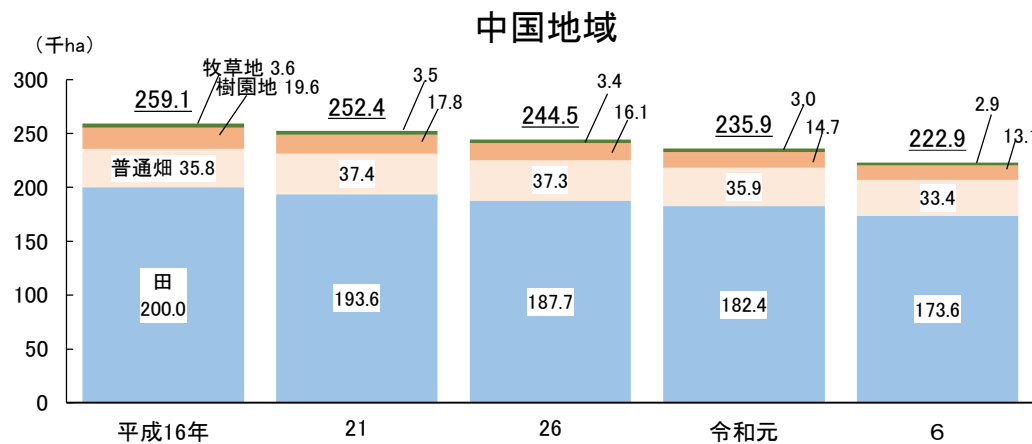
農業地域類型についての詳しい解説は、以下のURLをご覧ください。
https://www.maff.go.jp/j/tokei/chiiki_ruikei/setsumei.html

耕地面積

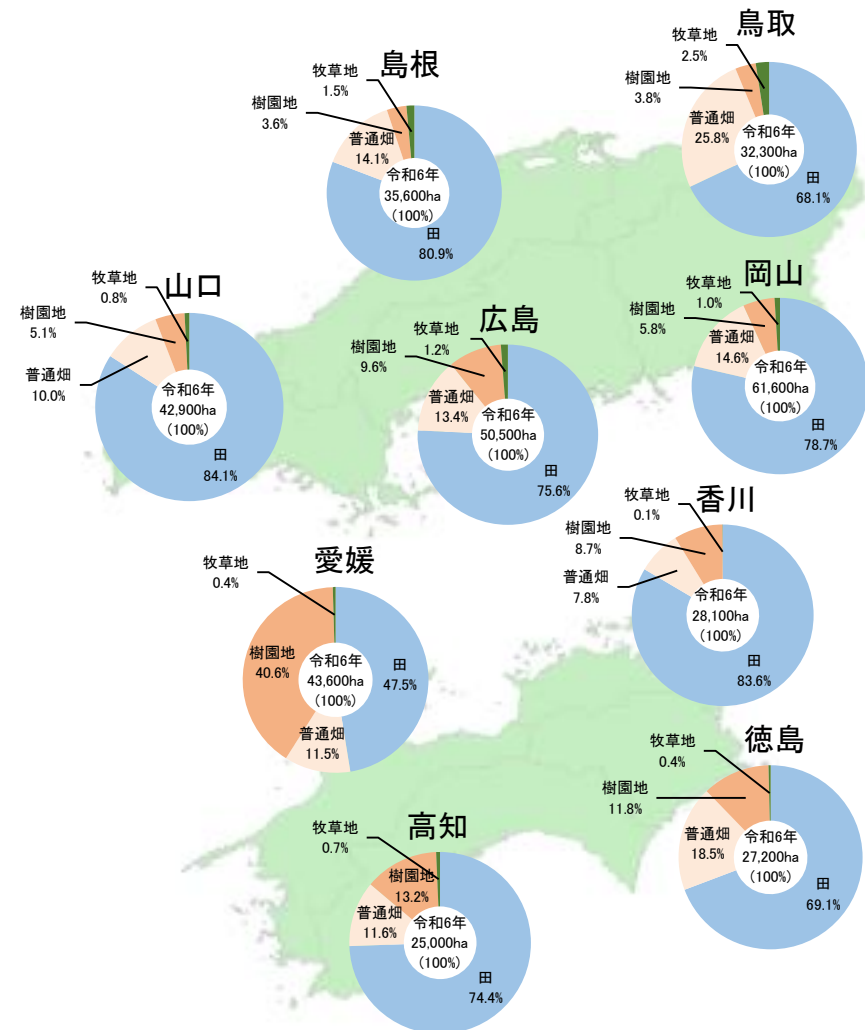
中国四国地域における耕地面積は、耕作放棄、宅地・道路への転用等により減少傾向が続いており、令和6年は20年前（平成16年）に比べ、中国地域では14.0%、四国地域では18.6%それぞれ減少しています。

耕地種類別の割合をみると、中国地域では田が多く、四国地域では樹園地が比較的多いのが特徴です。

耕地種類別面積の推移



県別の耕地種類別面積割合



資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」

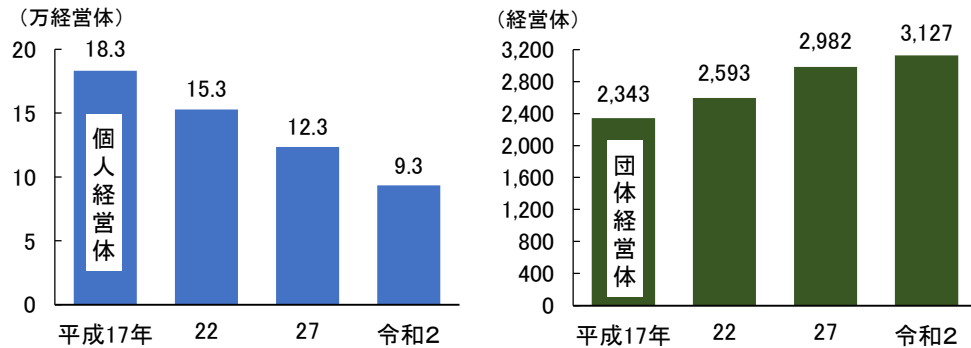
農業経営体

中国四国地域における個人経営体は、後継者不足に伴う廃業等のため減少傾向が続いており、令和2年は15年前（平成17年）に比べ、中国地域では49.2%、四国地域では44.8%それぞれ減少しています。

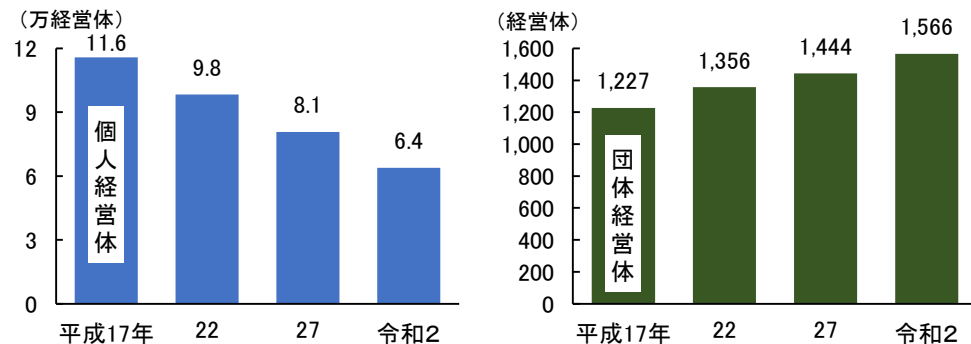
一方、会社法人・農事組合法人などの団体経営体は増加傾向にあり、令和2年は15年前に比べ、中国地域では33.5%、四国地域では27.6%それぞれ増加しています。

農業経営体数の推移

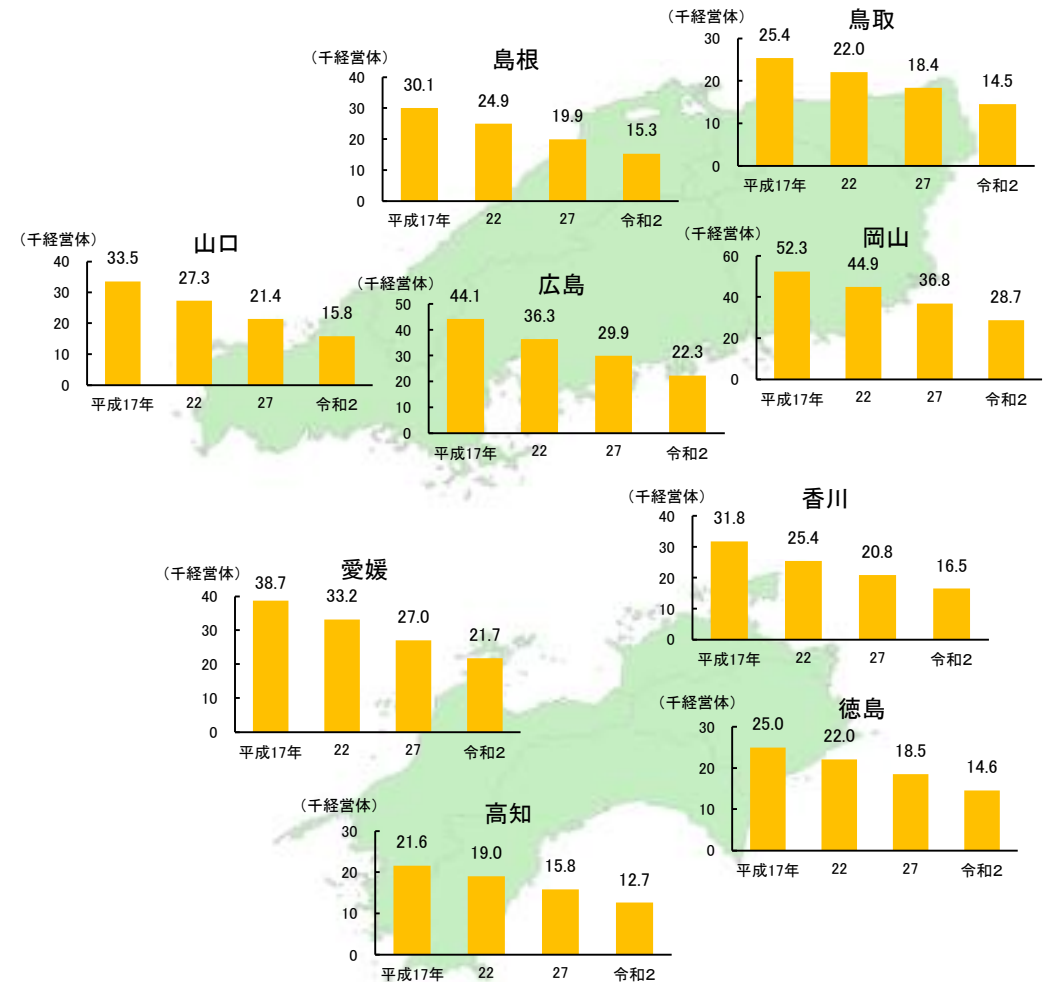
中国地域



四国地域



県別の農業経営体数の推移

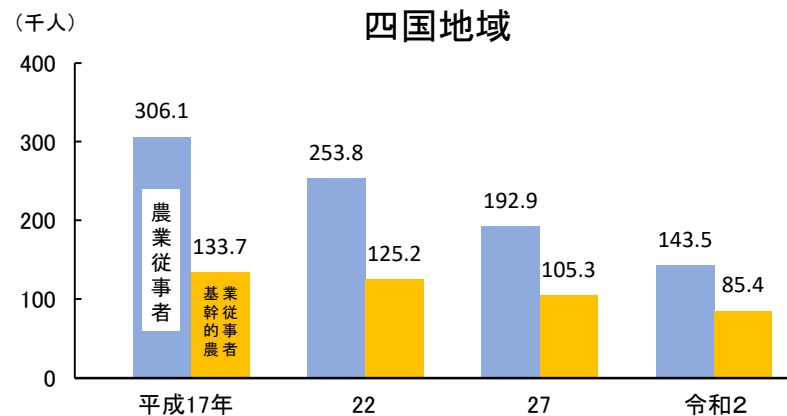
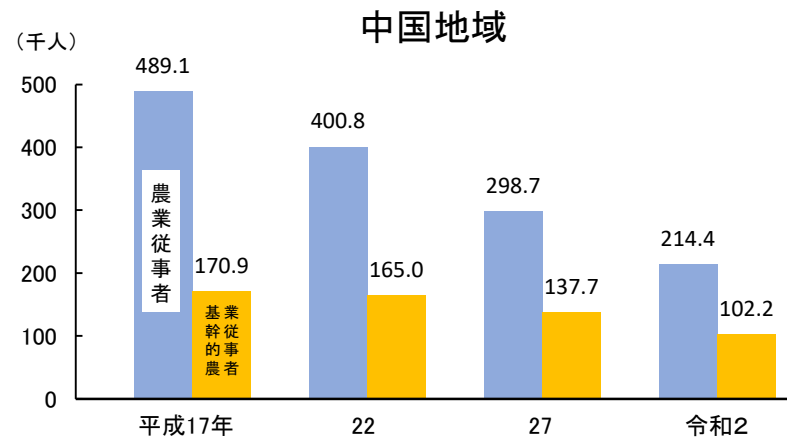


農業労働力

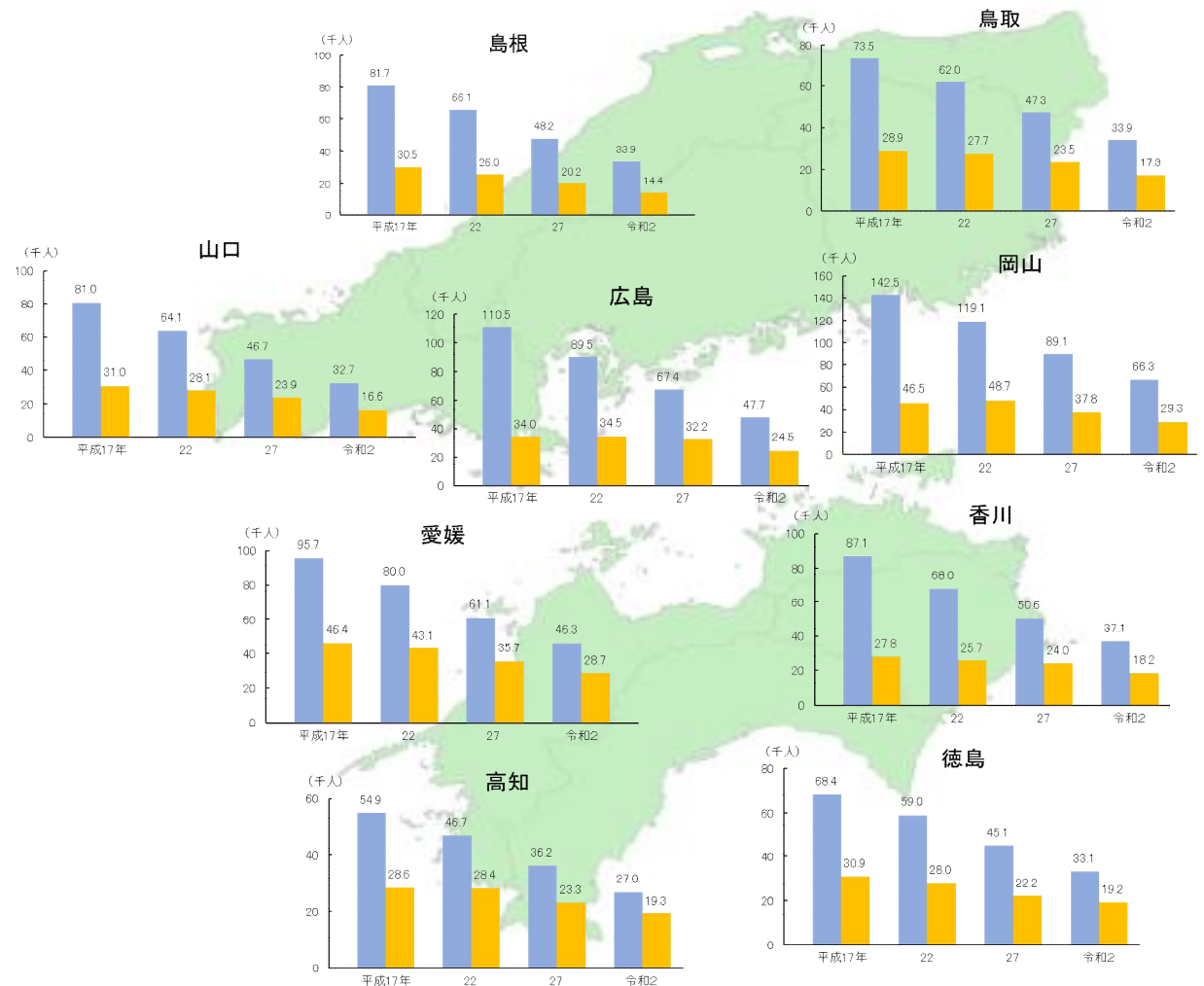
中国四国地域における個人経営体（平成17年及び22年は販売農家）の農業従事者は、後継者不足等により減少傾向が続いており、令和2年は15年前（平成17年）に比べ、中国地域では56.2%、四国地域では53.1%それぞれ減少しています。

基幹的農業従事者も同要因により減少傾向が続いており、令和2年は15年前に比べ、中国地域では40.2%、四国地域では36.1%それぞれ減少しています。

農業従事者数の推移



県別の農業従事者数の推移



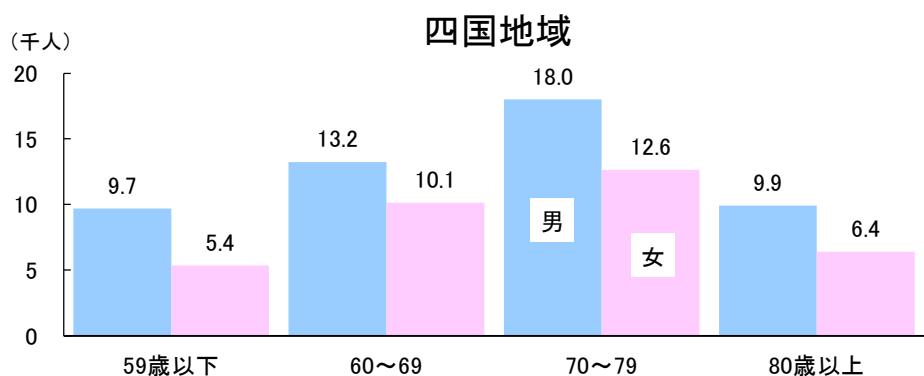
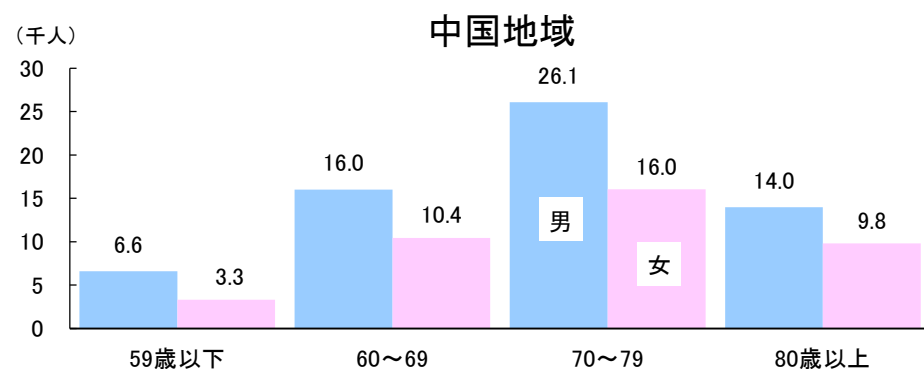
資料: 農林水産省「農林業センサス」

注: 平成17年及び22年は「販売農家」、27年及び令和2年は「個人経営体」の数値です。

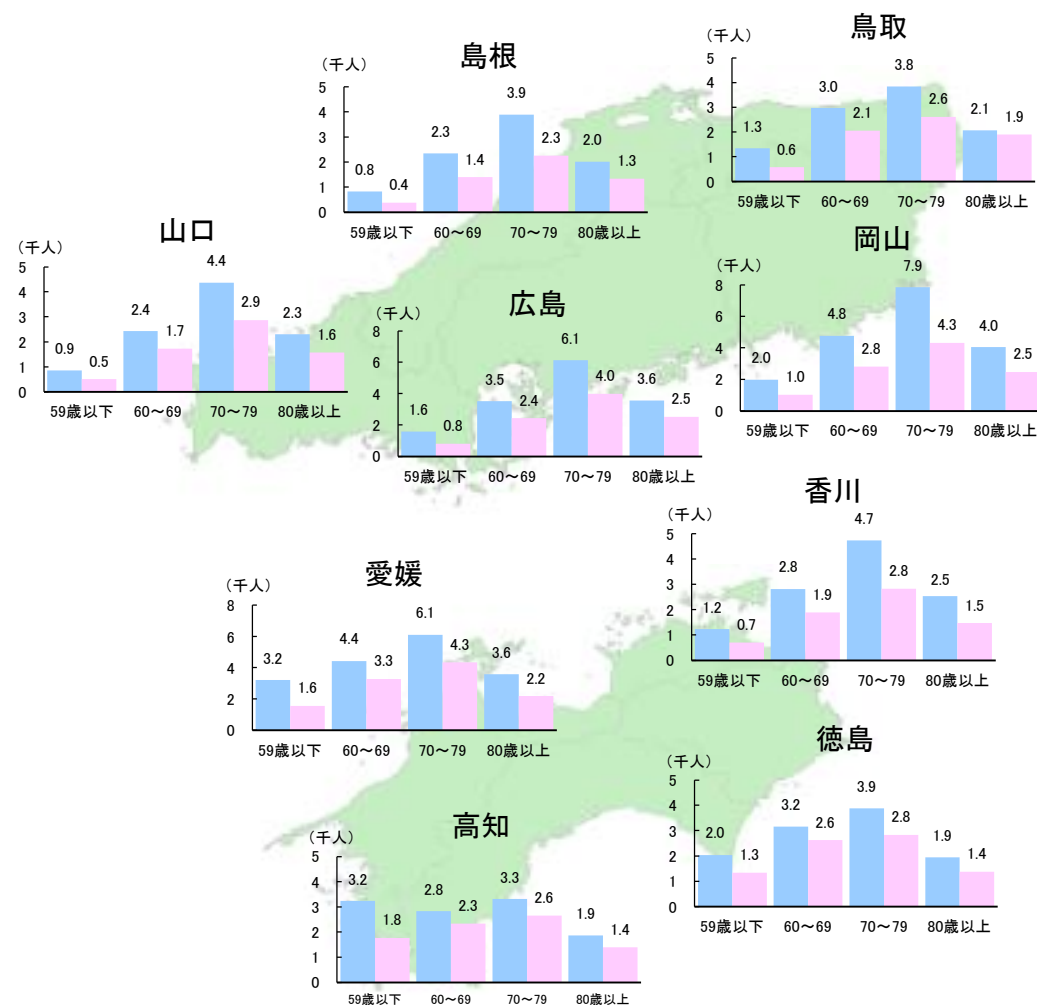
農業労働力(つづき)

中国地域、四国地域における令和2年の基幹的農業従事者（個人経営体）を年齢階層別にみると、男女ともに70～79歳の階層が最も多く、59歳以下の階層が最も少なくなっています。

男女別年齢階層別 基幹的農業従事者数(令和2年)



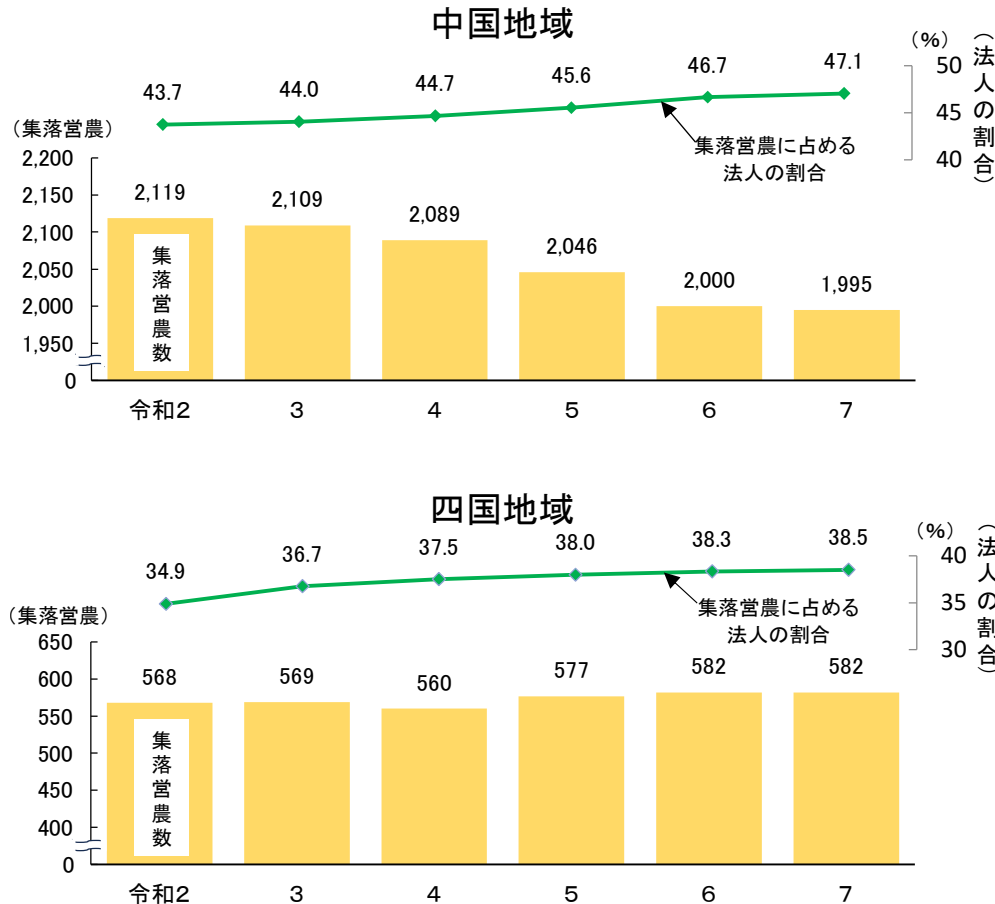
県別の男女別年齢階層別 基幹的農業従事者数(令和2年)



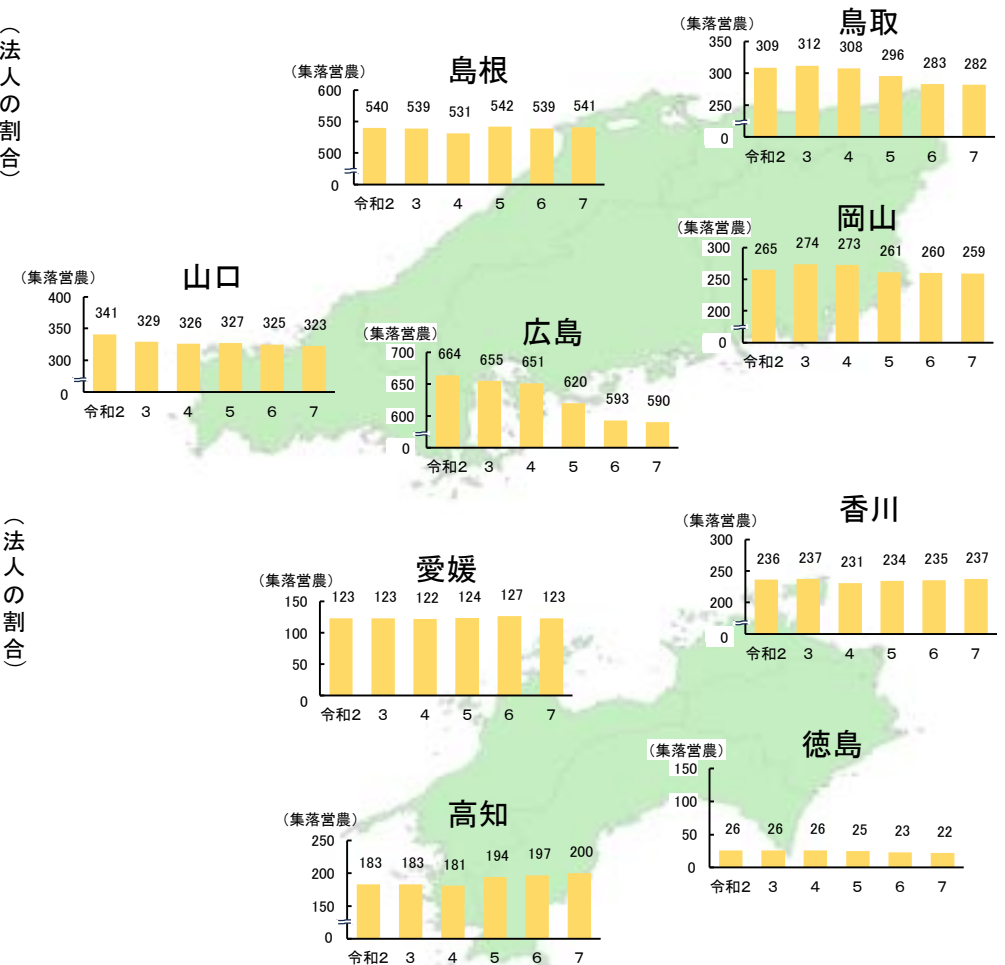
集落営農

中国四国地域における集落営農数は、中国地域全体では年々減少しており、四国地域では増減を繰り返しながら推移しています。集落営農に占める法人の割合は、両地域とも上昇傾向となっています。

集落営農数の推移



県別の集落営農数の推移



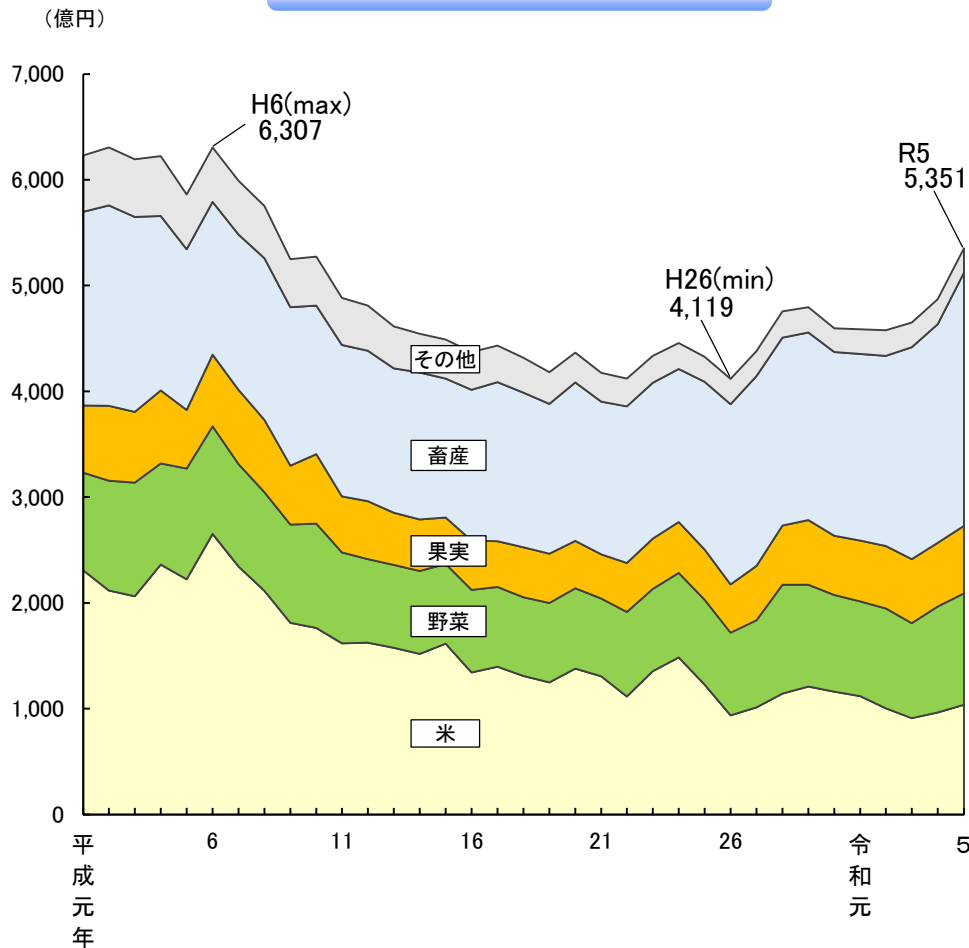
資料: 農林水産省「集落営農実態調査」

農業産出額

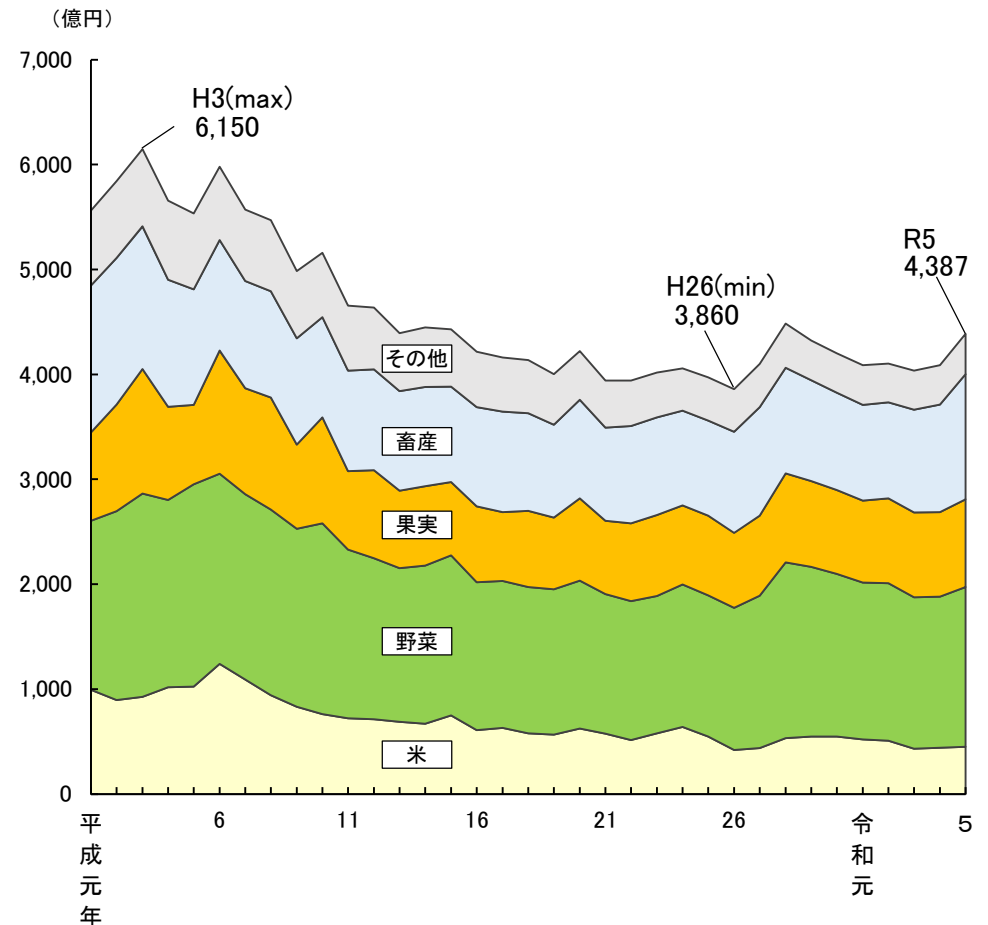
中国地域における農業産出額は、平成6年以降は概ね減少傾向で推移していましたが、平成26年以降は回復傾向となっており、令和5年の総額は5,351億円（前年比9.9%増加）となっています。

四国地域における農業産出額は、平成3年以降は概ね減少傾向で推移していましたが、近年は回復傾向となっており、令和5年の総額は4,387億円（前年比7.3%増加）となっています。

農業産出額の推移(中国地域)



農業産出額の推移(四国地域)



資料:農林水産省「生産農業所得統計」

農業産出額（各県の主要農畜産物（上位10品目））

農業産出額は各県それぞれ特徴があり、鳥取県、島根県、山口県及び徳島県は「米」、岡山県、広島県及び香川県は「鶏卵」、愛媛県は「みかん」、高知県は「なす」が最も高くなっています。

各県における主要農畜産物(上位10品目)の産出額(令和5年)

島根県 総額:676億円 全国順位:40位			
品目	産出額	全国順位	
1 米	174億円	30位	
2 生乳	96億円	14位	
3 肉用牛	93億円	23位	
4 鶏卵	50億円	33位	
5 ぶどう	31億円	12位	
6 豚	30億円	33位	
7 トマト	17億円	34位	
8 ブロイラー	13億円	34位	
9 ほうれんそう	12億円	21位	
10 ねぎ	10億円	35位	

鳥取県 総額:766億円 全国順位:36位			
品目	産出額	全国順位	
1 米	127億円	36位	
2 ブロイラー	104億円	8位	
3 生乳	77億円	19位	
4 肉用牛	72億円	28位	
5 日本なし	56億円	3位	
6 豚	45億円	29位	
7 すいか	44億円	4位	
8 ねぎ	40億円	13位	
9 ブロッコリー	23億円	9位	
10 トマト	18億円	33位	

愛媛県 総額:1,295億円 全国順位:26位			
品目	産出額	全国順位	
1 みかん	272億円	2位	
2 米	139億円	35位	
3 豚	127億円	18位	
4 鶏卵	81億円	28位	
5 生乳	38億円	30位	
6 いよかん	33億円	1位	
7 さといも	28億円	4位	
8 肉用牛	28億円	36位	
9 切り枝	26億円	2位	
10 トマト	24億円	28位	

香川県 総額:978億円 全国順位:34位			
品目	産出額	全国順位	
1 鶏卵	267億円	12位	
2 米	110億円	37位	
3 肉用牛	63億円	31位	
4 ブロイラー	56億円	14位	
5 ブロッコリー	53億円	2位	
6 いちご	52億円	11位	
7 生乳	52億円	26位	
8 ひな(他都道府県販売)	30億円	4位	
9 レタス	26億円	8位	
10 豚	26億円	35位	

山口県 総額:689億円 全国順位:38位			
品目	産出額	全国順位	
1 米	183億円	29位	
2 鶏卵	85億円	27位	
3 肉用牛	49億円	33位	
4 ブロイラー	43億円	18位	
5 豚	27億円	34位	
6 ねぎ	23億円	23位	
7 いちご	23億円	23位	
8 生乳	19億円	41位	
9 みかん	15億円	18位	
10 トマト	15億円	38位	

広島県 総額:1,448億円 全国順位:24位			
品目	産出額	全国順位	
1 鶏卵	361億円	5位	
2 米	247億円	23位	
3 豚	146億円	14位	
4 肉用牛	77億円	27位	
5 生乳	59億円	24位	
6 ねぎ	48億円	8位	
7 トマト	44億円	16位	
8 みかん	40億円	9位	
9 ぶどう	39億円	6位	
10 ほうれんそう	23億円	10位	

岡山県 総額:1,772億円 全国順位:20位			
品目	産出額	全国順位	
1 鶏卵	433億円	4位	
2 米	305億円	18位	
3 ぶどう	221億円	3位	
4 生乳	144億円	9位	
5 肉用牛	110億円	22位	
6 ブロイラー	108億円	7位	
7 もも	55億円	3位	
8 豚	36億円	32位	
9 トマト	25億円	26位	
10 なす	16億円	13位	

高知県 総額:1,128億円 全国順位:31位			
品目	産出額	全国順位	
1 なす	131億円	1位	
2 米	103億円	38位	
3 にら	98億円	1位	
4 みょうが	88億円	1位	
5 しょうが	82億円	1位	
6 きゅうり	74億円	6位	
7 ビーマン	58億円	3位	
8 ゆず	38億円	1位	
9 ブンタン	34億円	1位	
10 ししとう	32億円	1位	

徳島県 総額:986億円 全国順位:33位			
品目	産出額	全国順位	
1 米	98億円	40位	
2 ブロイラー	94億円	10位	
3 肉用牛	81億円	25位	
4 かんしょ	79億円	4位	
5 にんじん	71億円	3位	
6 豚	40億円	31位	
7 ブロッコリー	40億円	4位	
8 鶏卵	39億円	36位	
9 生乳	31億円	33位	
10 いちご	30億円	19位	

資料:農林水産省「令和5年生産農業所得統計」

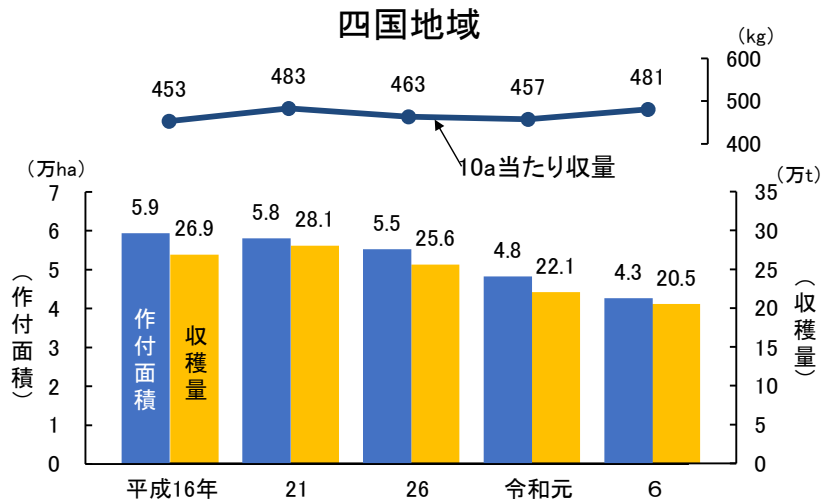
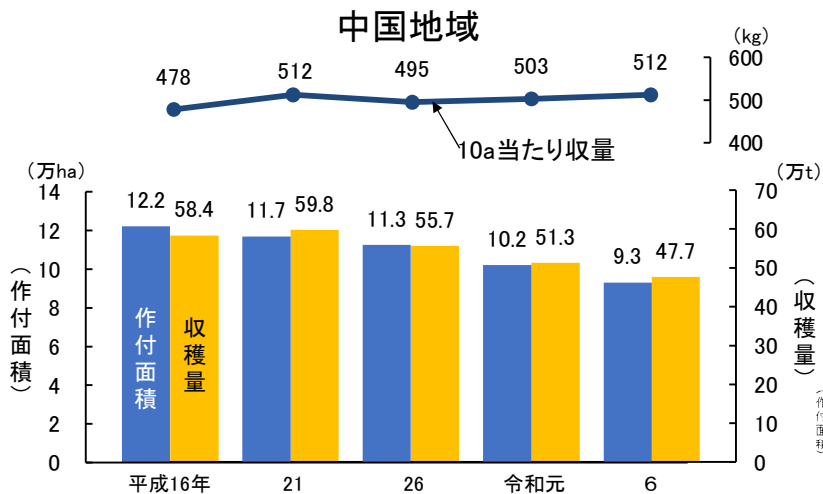
水稻（子実用）

中国四国地域における水稻（子実用）の作付面積は、食生活の変化による米の消費量の減少等に伴い、減少傾向で推移しており、令和6年産は20年前（平成16年産）に比べ、中国地域では23.8%、四国地域では28.1%それぞれ減少しています。

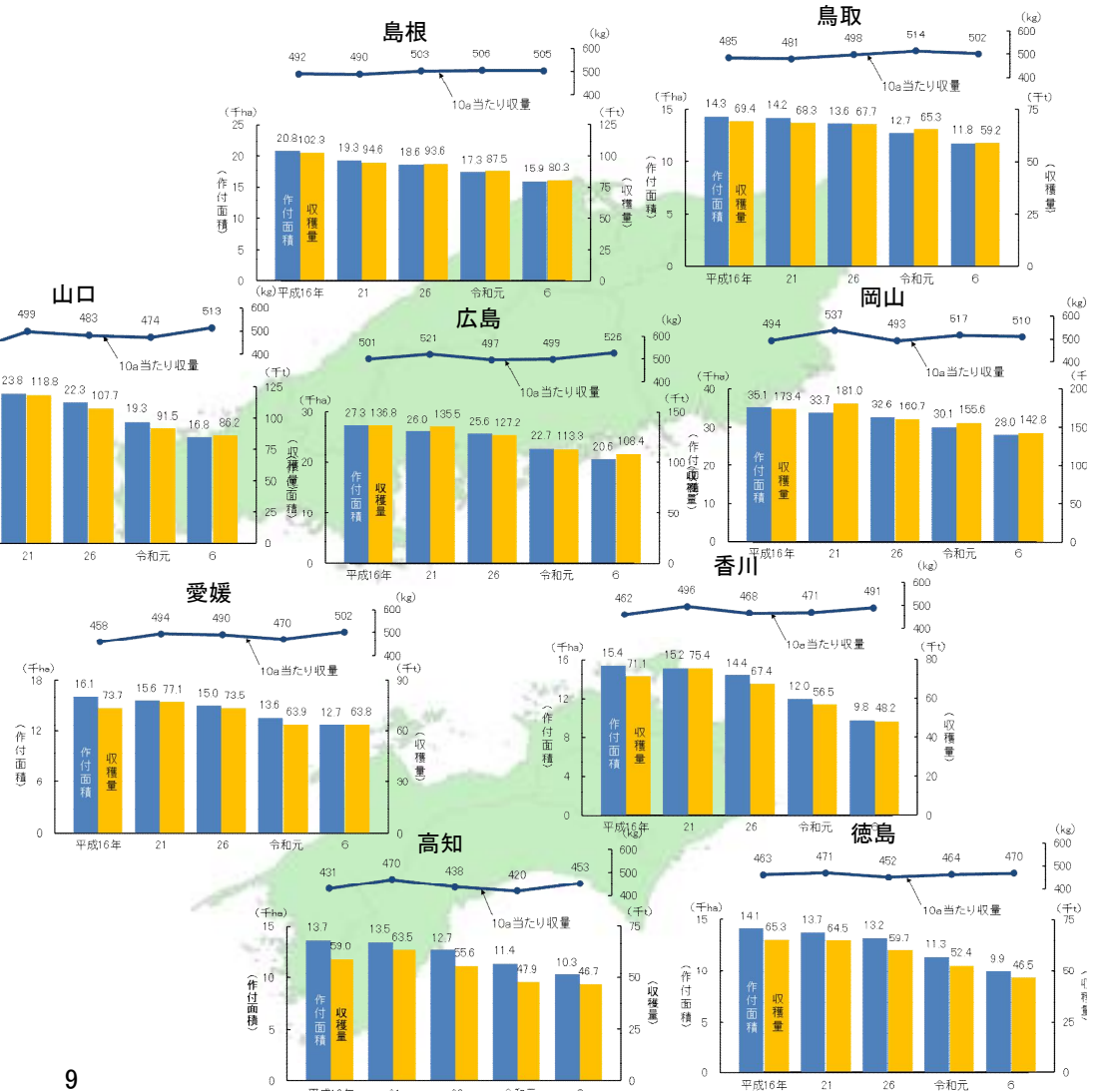
収穫量は、作付面積の減少に伴い、中国地域、四国地域ともに減少しています。

10a当たり収量は、作付品種の構成や栽培技術の変化、気象条件の影響等により変動しています。

作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移



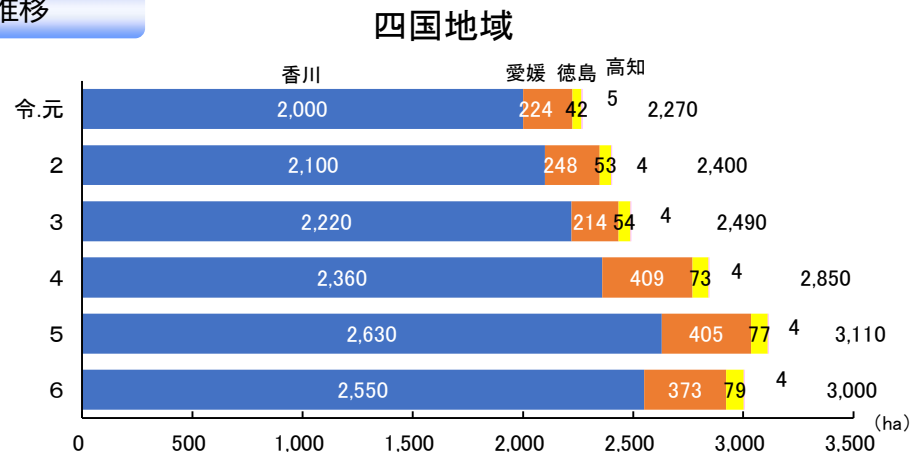
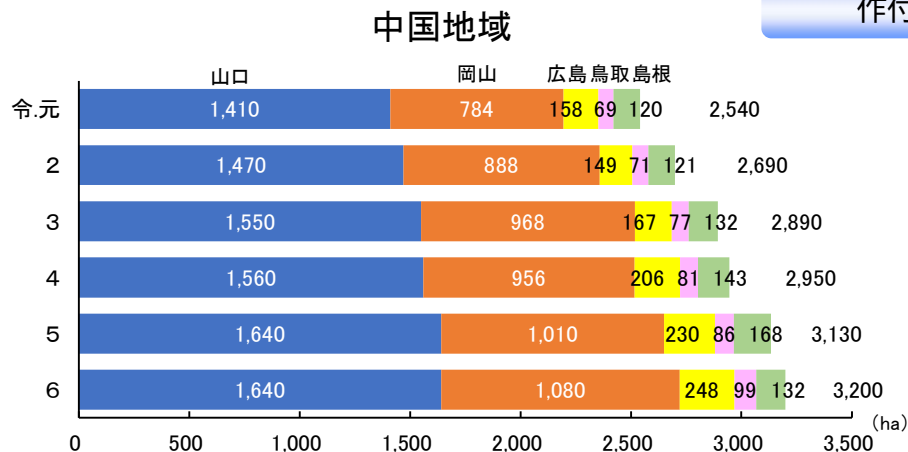
県別の作付面積、収穫量及び10a当たり収量の推移



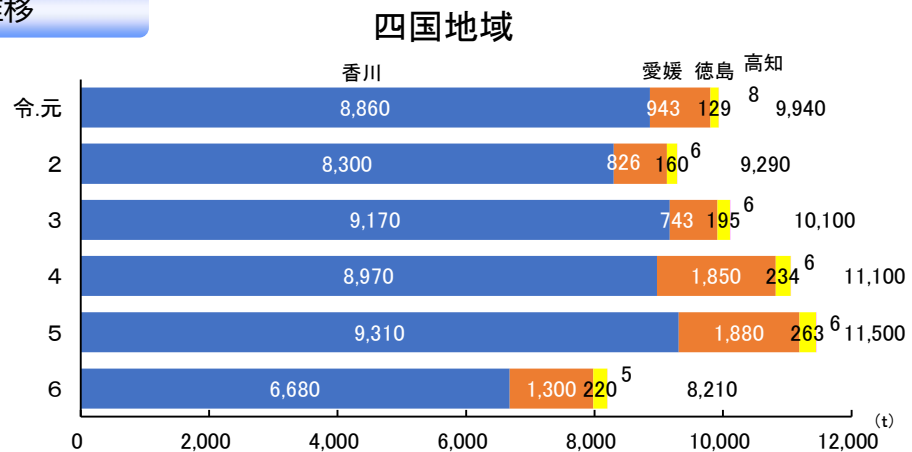
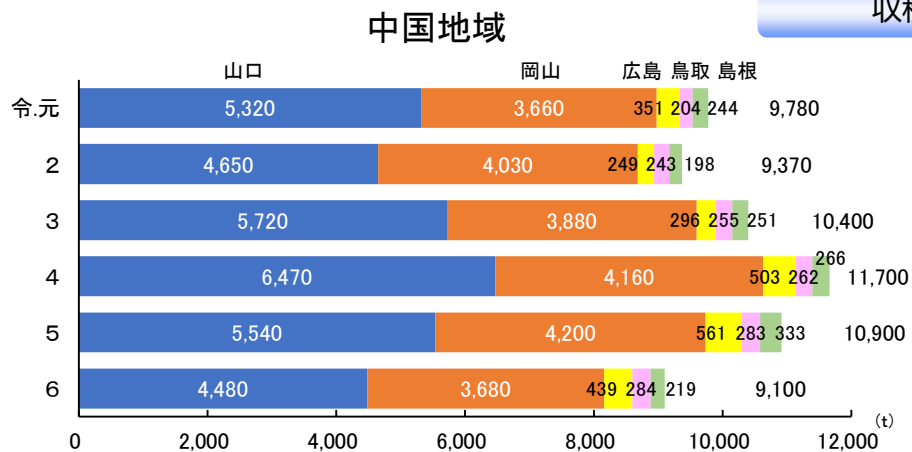
小麦（子実用）

小麦（子実用）の作付面積は、近年増加傾向にあり、中国地域では山口県、岡山県が多く、四国地域では香川県が多くなっています。
収穫量は、気象条件の影響を受けやすいため、年産・地域別に増減が見られるものの、作付面積と同様、中国地域では山口県、岡山県が多く、四国地域では香川県が多くなっています。

作付面積の推移



収穫量の推移



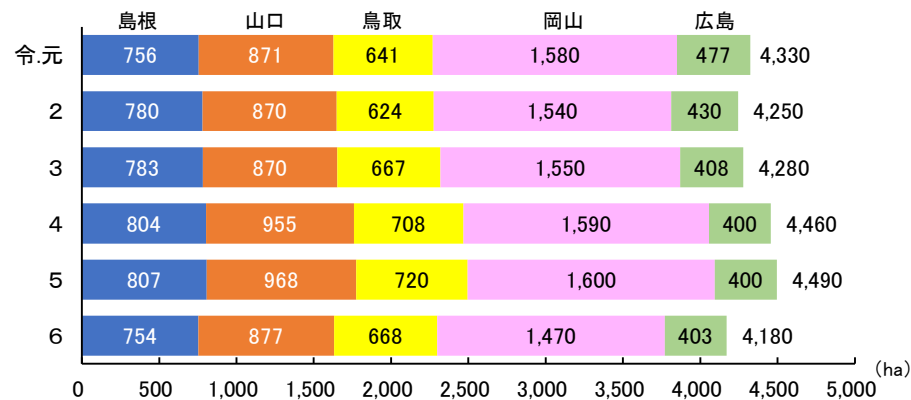
大豆（乾燥子実）

大豆（乾燥子実）の作付面積は、中国地域では岡山県が多く、山口県、島根県、鳥取県、広島県の順となっています。四国地域では愛媛県が多くなっています。

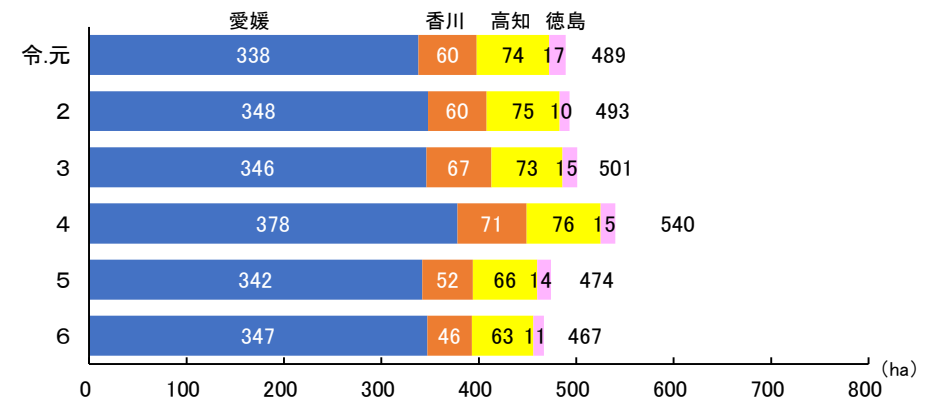
収穫量は、中国地域では島根県、山口県、鳥取県、岡山県、広島県の順となっています。四国地域では愛媛県が多くなっています。

作付面積の推移

中国地域

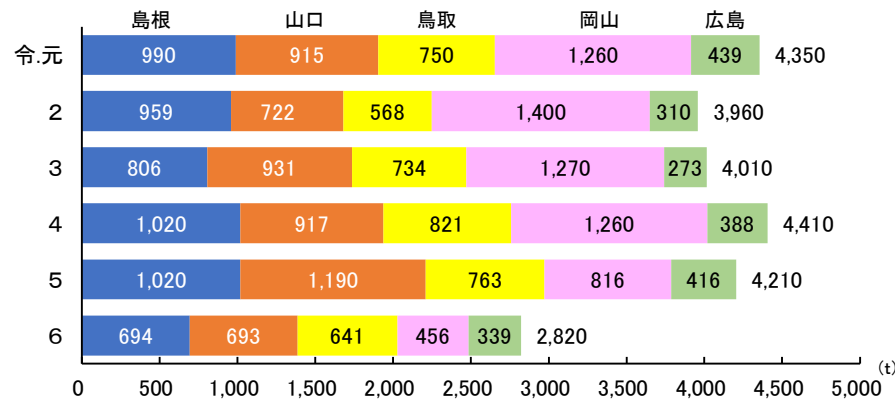


四国地域

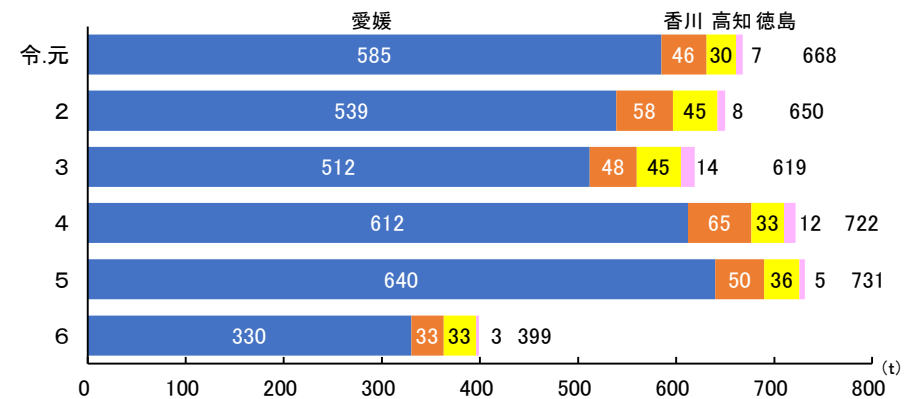


収穫量の推移

中国地域



四国地域



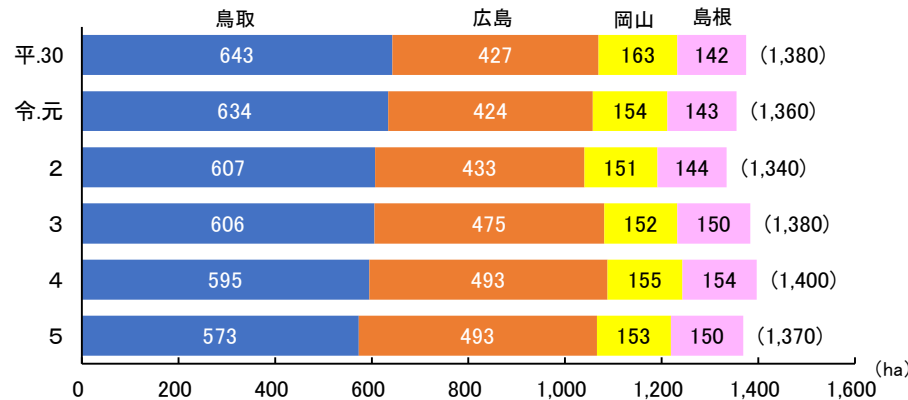
野菜（ねぎ）

ねぎの作付面積は、中国地域では鳥取県、広島県が多く、岡山県、島根県の順となっています。四国地域では香川県、徳島県、高知県、愛媛県の順となっています。

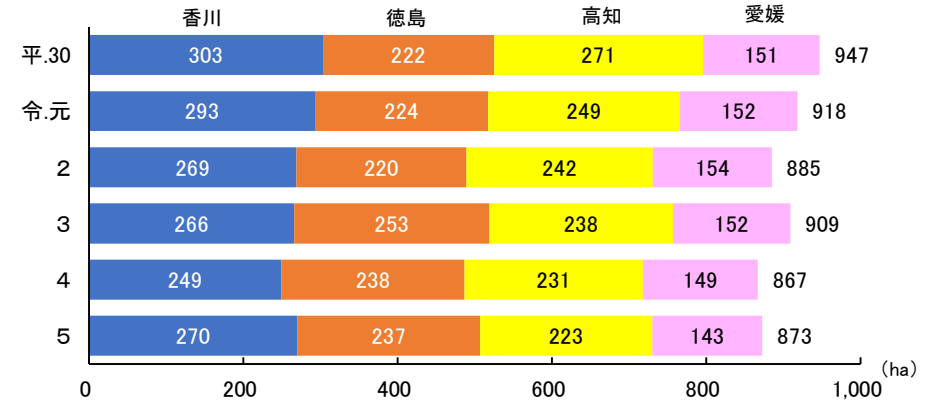
収穫量は、中国地域では鳥取県、広島県が多く、岡山県、島根県の順となっています。四国地域では香川県、徳島県、高知県、愛媛県の順となっています。

主産県における作付面積の推移

中国地域

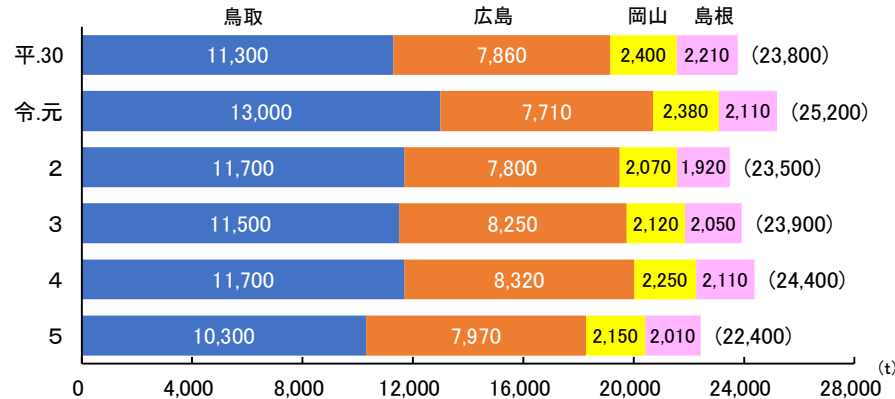


四国地域

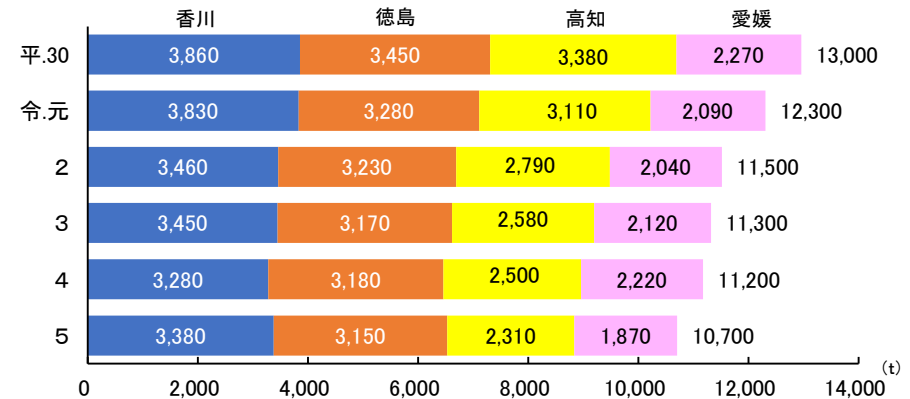


主産県における収穫量の推移

中国地域



四国地域



中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・徳島・香川・愛媛・高知（8県）

資料：農林水産省「作物統計調査」

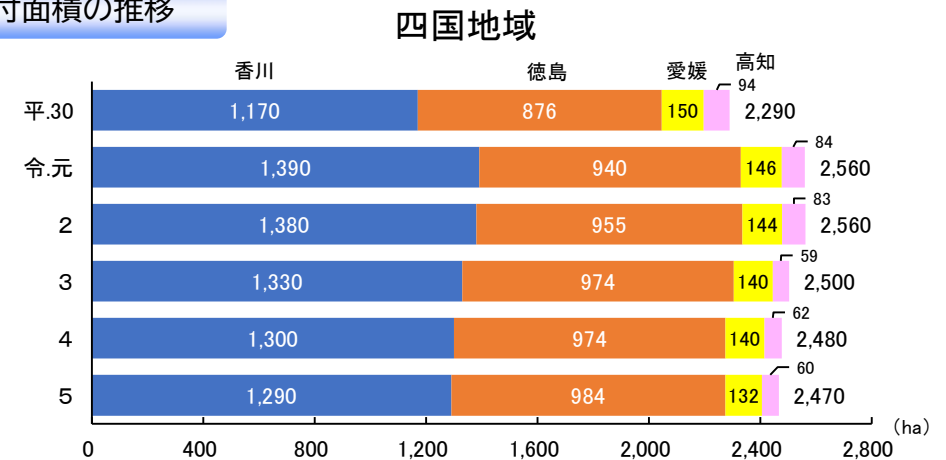
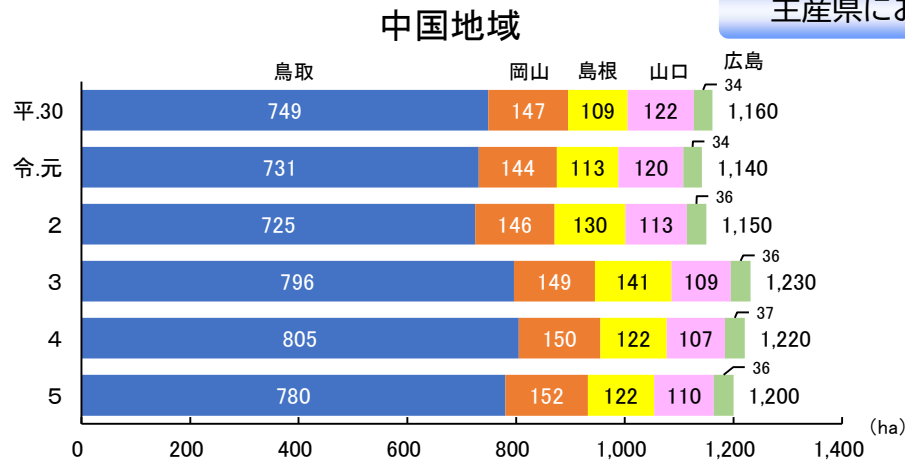
注： グラフ中、中国地域・四国地域の計の表示に括弧を付しているものは、該当する公表値がないため、各主産県値を積み上げた参考値を記載しました。（以下、野菜及び果樹の資料について同様です。）

野菜（ブロッコリー）

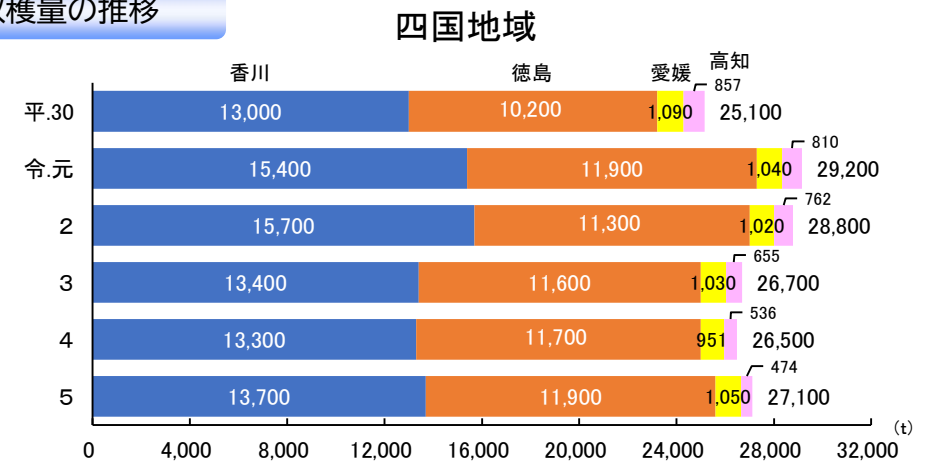
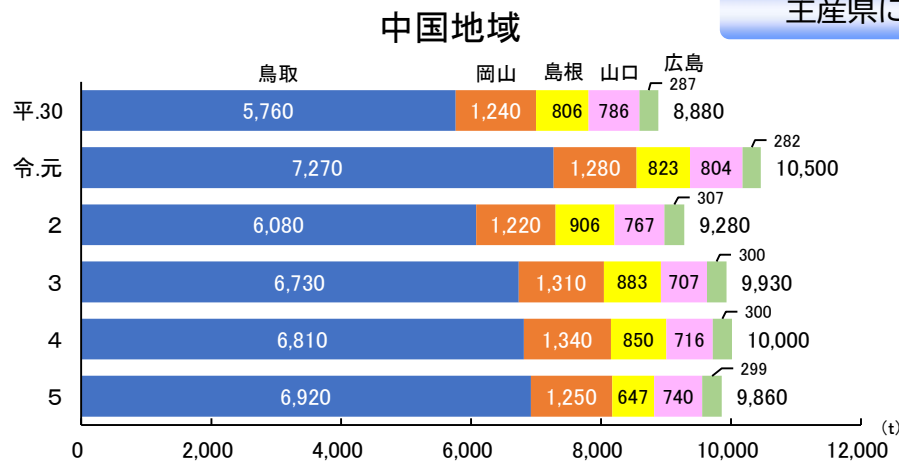
ブロッコリーの作付面積は、中国地域では鳥取県が多く、岡山県、島根県、山口県、広島県の順となっています。四国地域では香川県、徳島県が多く、愛媛県、高知県の順となっています。

収穫量は、中国地域では鳥取県が多く、岡山県、山口県、島根県、広島県の順となっています。四国地域では香川県、徳島県が多く、愛媛県、高知県の順となっています。

主産県における作付面積の推移



主産県における収穫量の推移



中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（9県）

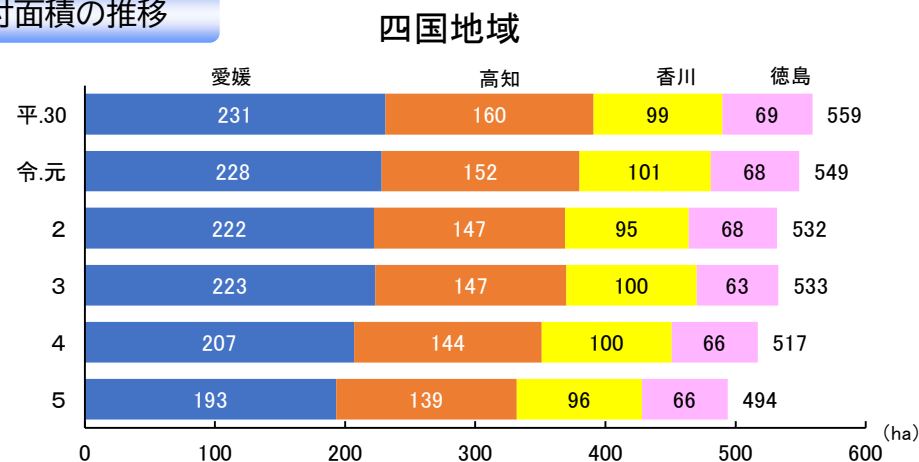
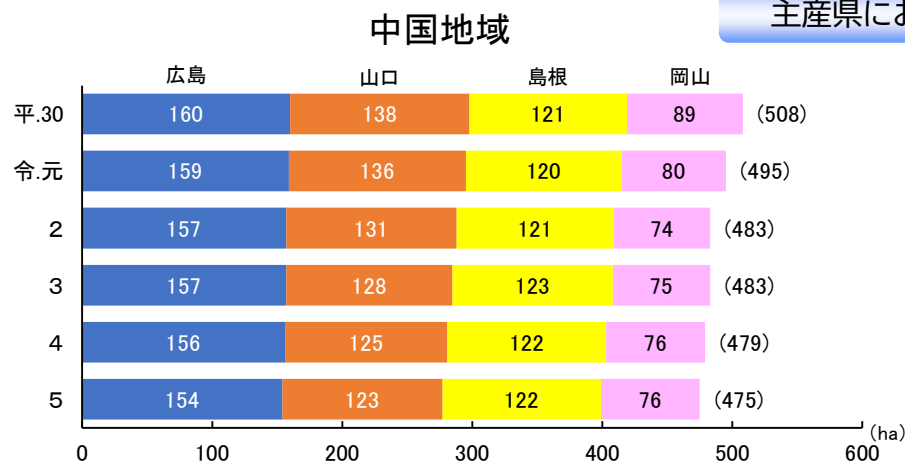
資料：農林水産省「作物統計調査」

野菜（きゅうり）

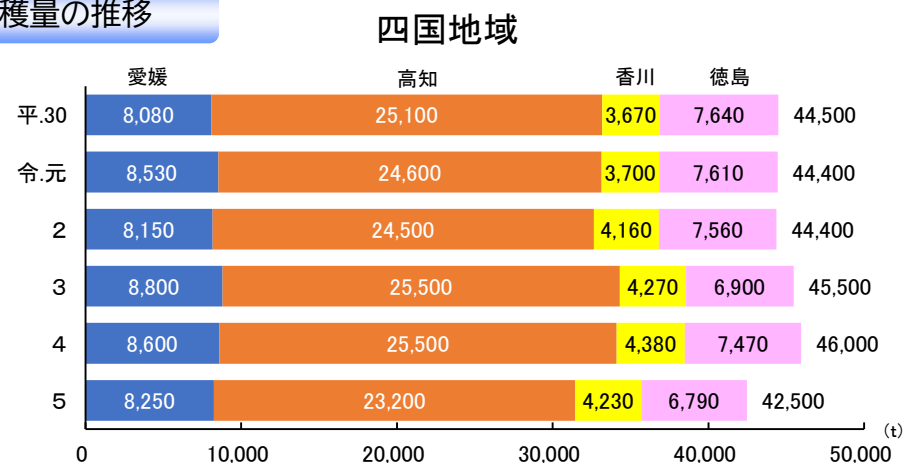
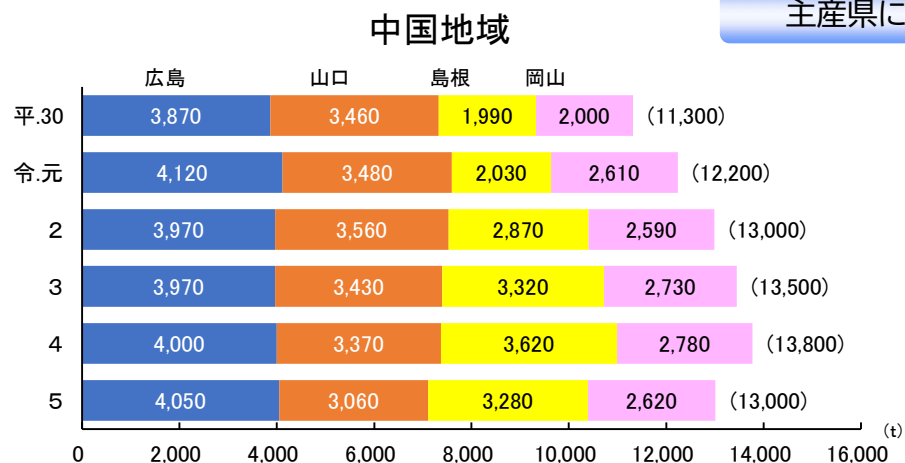
きゅうりの作付面積は、中国地域では広島県、山口県、島根県、岡山県の順となっています。四国地域では愛媛県、高知県、香川県、徳島県の順となっています。

収穫量は、中国地域では広島県、島根県、山口県、岡山県の順となっています。四国地域では高知県が多く、愛媛県、徳島県、香川県の順となっています。

主産県における作付面積の推移



主産県における収穫量の推移



中国四国地域の主産県調査対象：島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（8県）

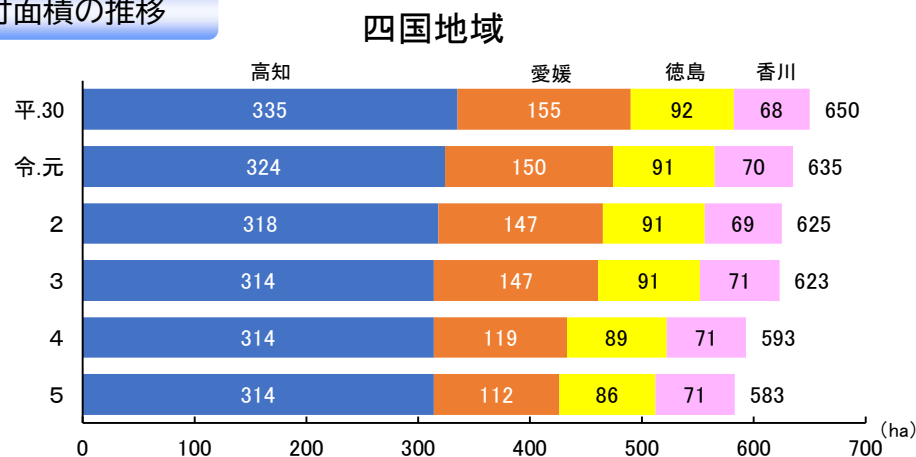
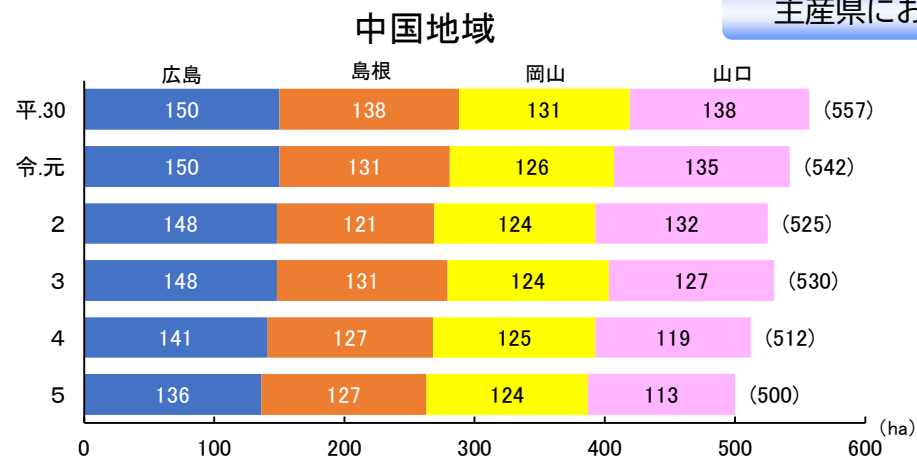
資料：農林水産省「作物統計調査」

野菜（なす）

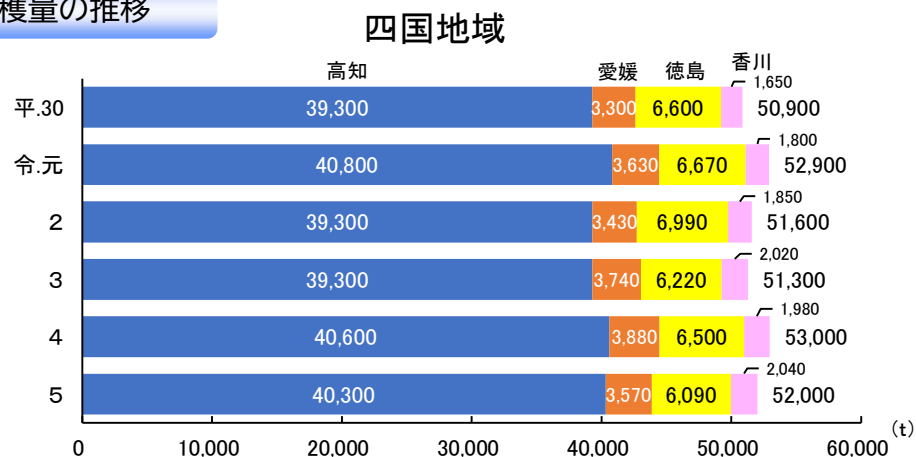
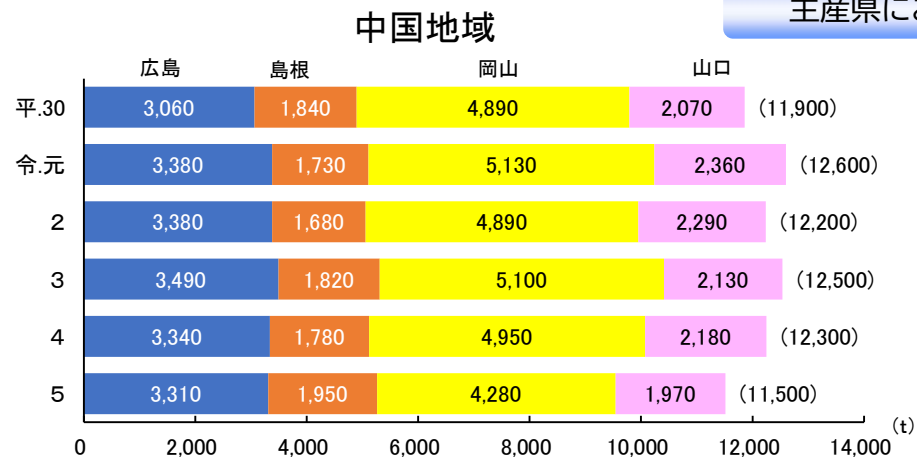
なすの作付面積は、中国地域では広島県、島根県、岡山県、山口県の順となっています。四国地域では高知県が多く、愛媛県、徳島県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では岡山県が多く、広島県、山口県、島根県の順となっています。四国地域では高知県が多く、徳島県、愛媛県、香川県の順となっています。

主産県における作付面積の推移



主産県における収穫量の推移



中国四国地域の主産県調査対象：島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（8県）

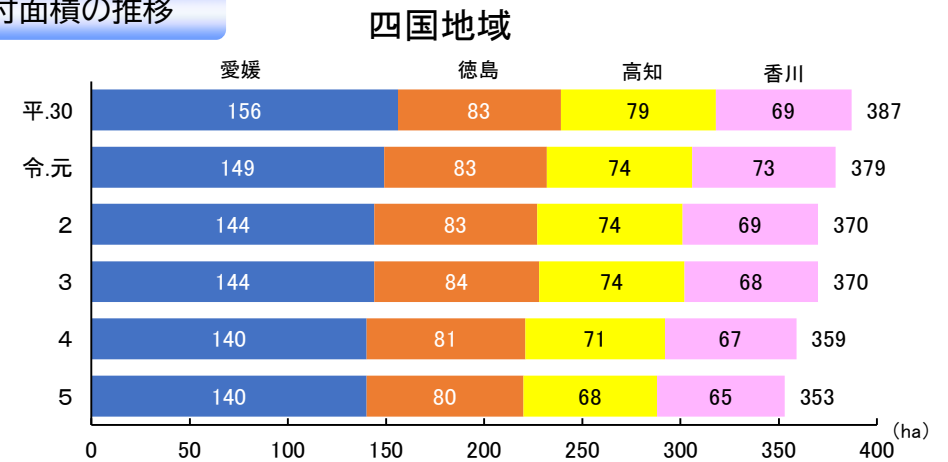
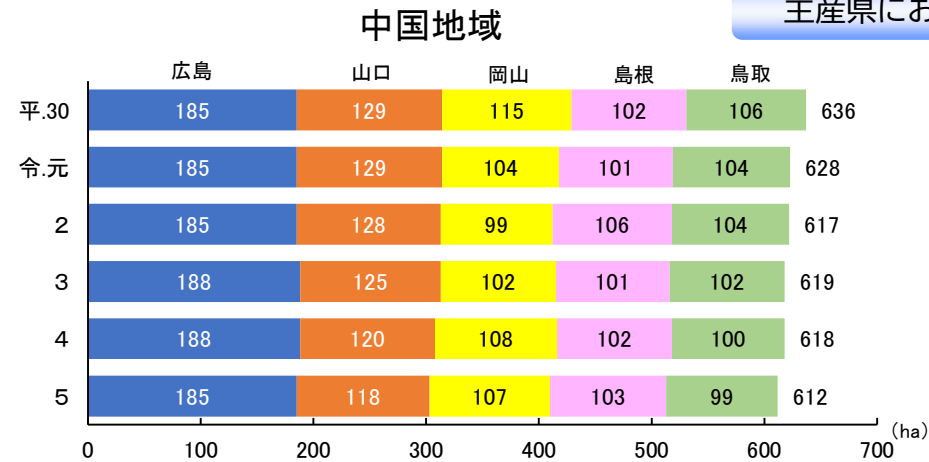
資料：農林水産省「作物統計調査」

野菜（トマト）

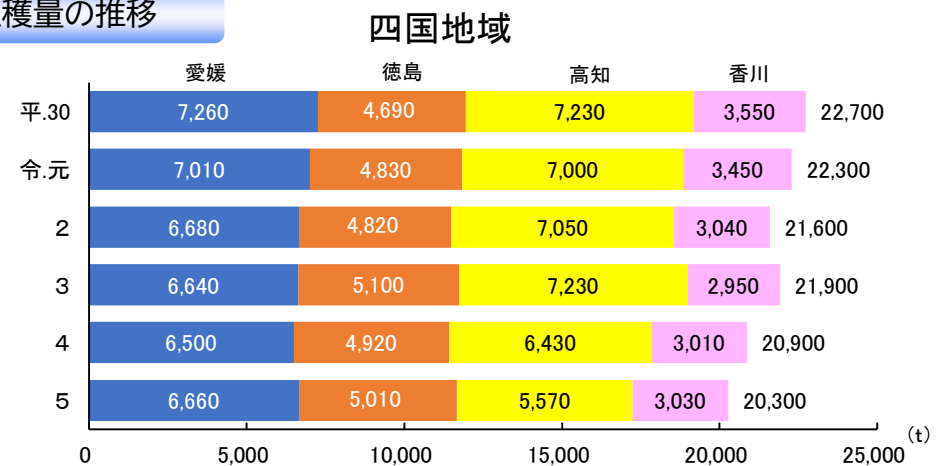
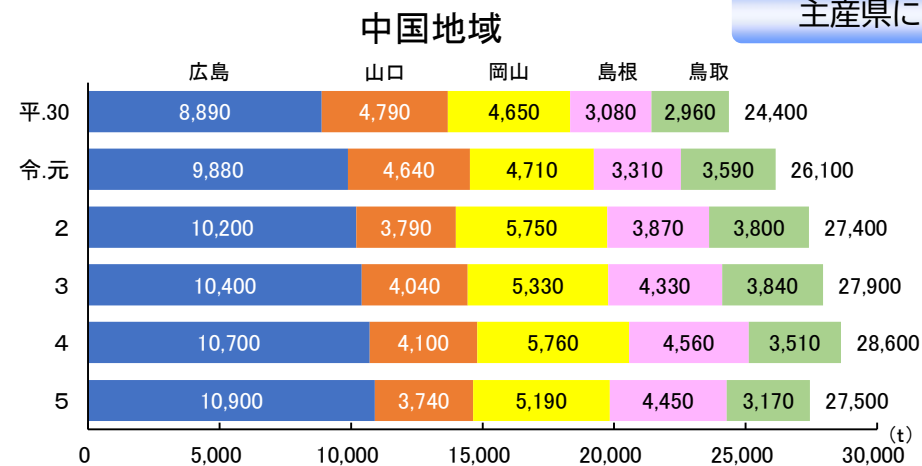
トマトの作付面積は、中国地域では広島県、山口県、岡山県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県が多く、徳島県、高知県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では広島県が多く、岡山県、島根県、山口県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、高知県、徳島県、香川県の順となっています。

主産県における作付面積の推移



主産県における収穫量の推移



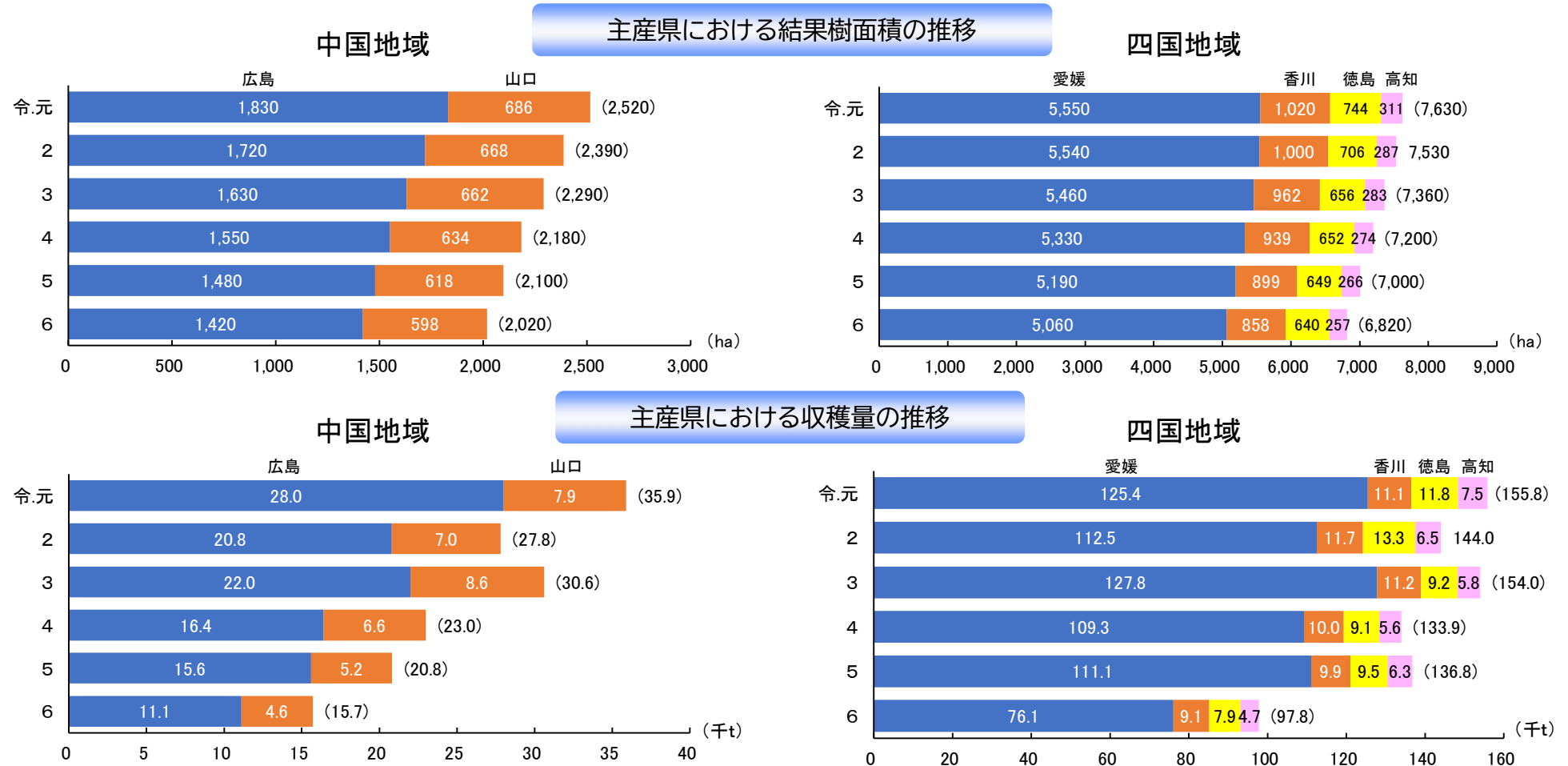
中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（9県）

資料：農林水産省「作物統計調査」

果樹（みかん）

みかんの結果樹面積は、中国地域では広島県、山口県の順となっています。四国地域では愛媛県が多く、香川県、徳島県、高知県の順となっています。

収穫量は、中国地域では広島県、山口県の順となっています。四国地域では愛媛県が多く、香川県、徳島県、高知県の順となっています。



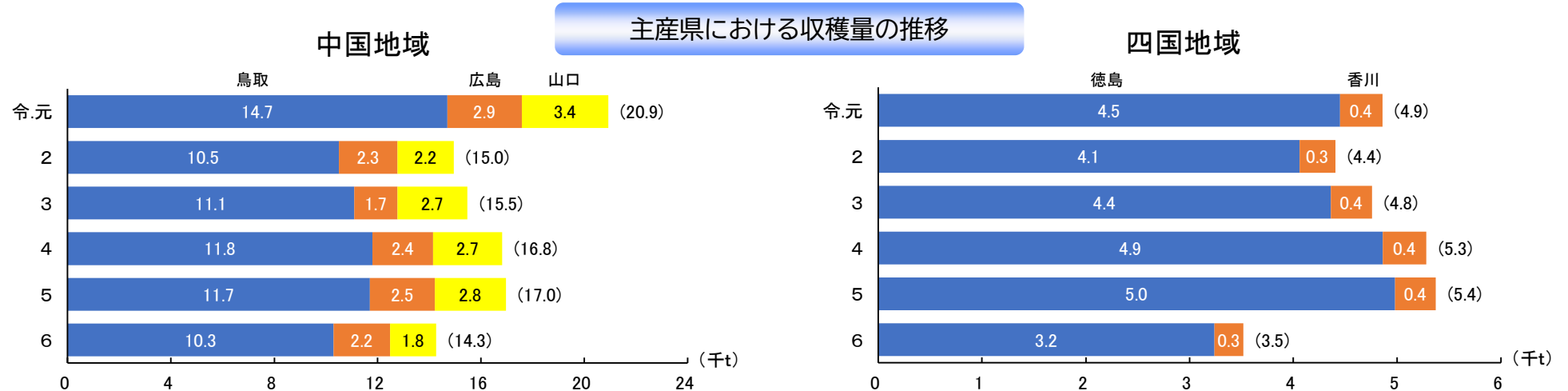
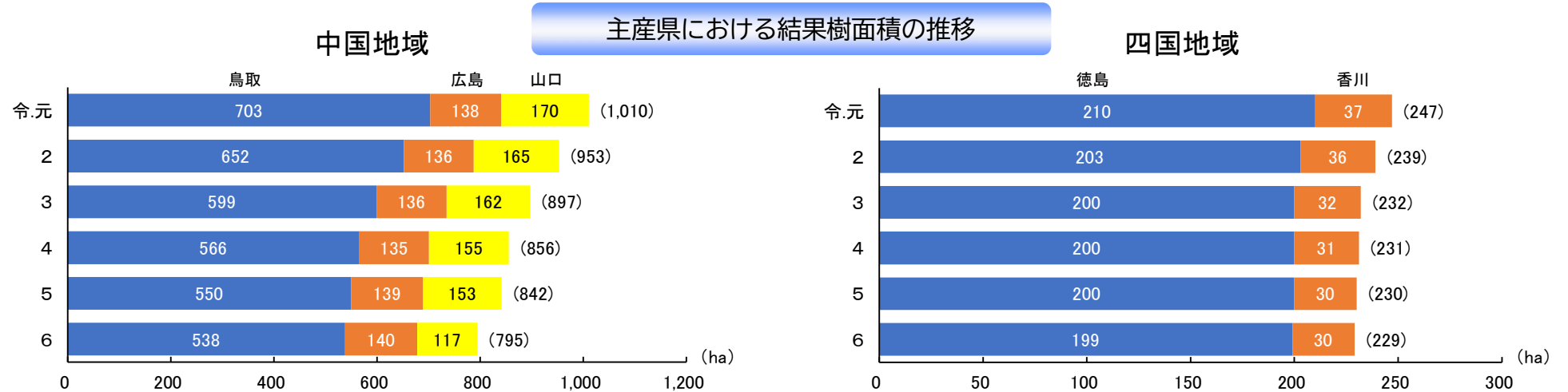
中国四国地域の主産県調査対象：広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知（6県）

資料：農林水産省「作物統計調査」

果樹（日本なし）

日本なしの結果樹面積は、中国地域では鳥取県が多く、広島県、山口県の順となっています。四国地域では徳島県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では鳥取県が多く、広島県、山口県の順となっています。四国地域では徳島県、香川県の順となっています。



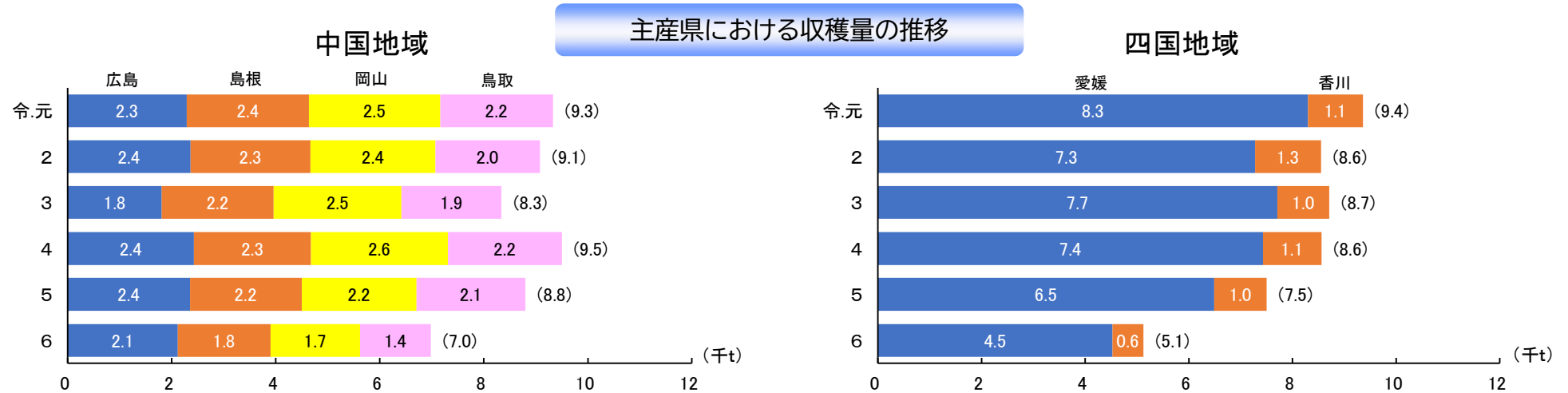
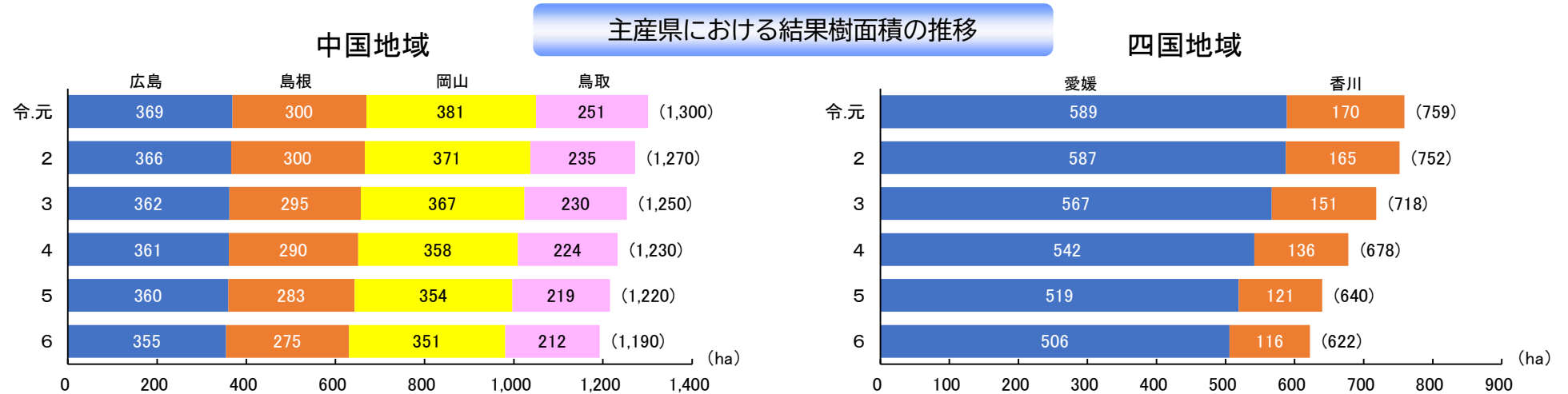
中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・広島・山口・徳島・香川（5県）

資料：農林水産省「作物統計調査」

果樹（かき）

かきの結果樹面積は、中国地域では広島県、岡山県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では広島県、島根県、岡山県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、香川県の順となっています。



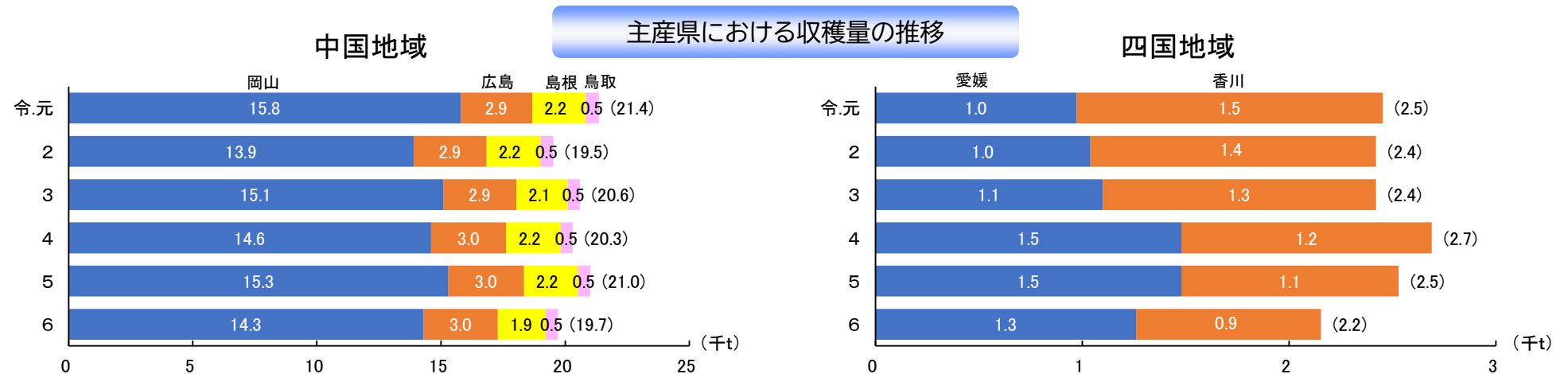
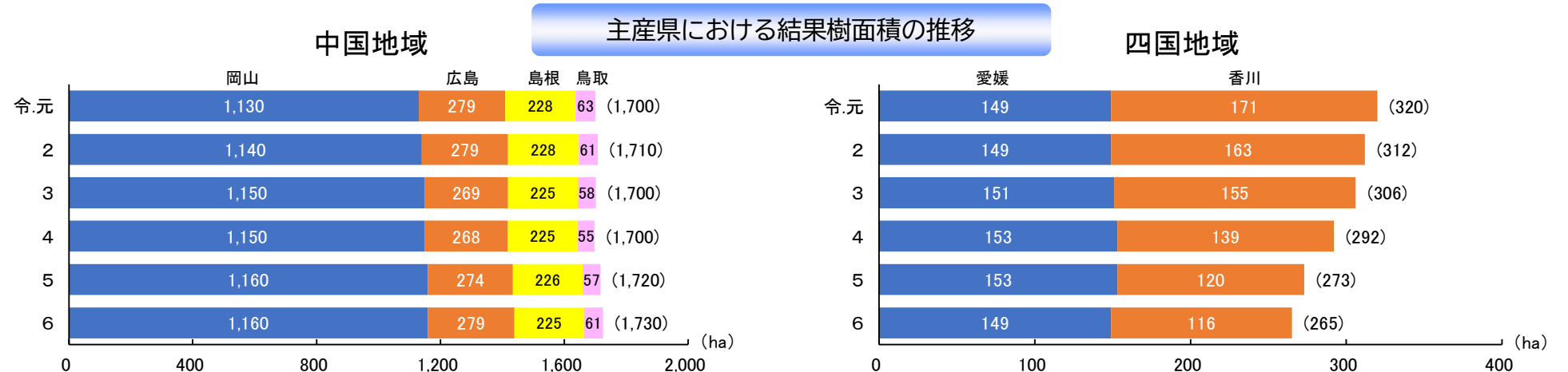
中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・香川・愛媛（6県）

資料：農林水産省「作物統計調査」

果樹（ぶどう）

ぶどうの結果樹面積は、中国地域では岡山県が多く、広島県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、香川県の順となっています。

収穫量は、中国地域では岡山県が多く、広島県、島根県、鳥取県の順となっています。四国地域では愛媛県、香川県の順となっています。



中国四国地域の主産県調査対象：鳥取・島根・岡山・広島・香川・愛媛（6県）

資料：農林水産省「作物統計調査」

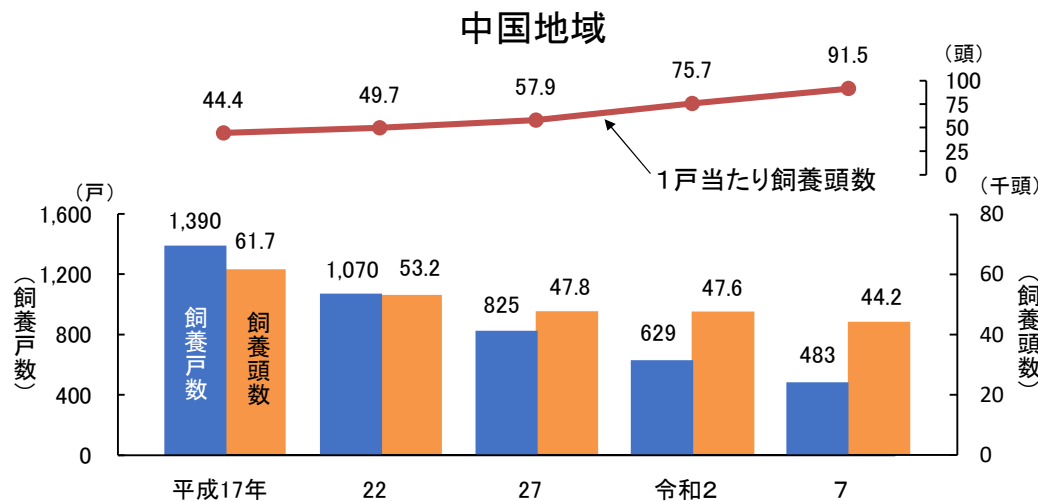
畜産(乳用牛)

中国四国地域における乳用牛の飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和7年は20年前（平成17年）に比べ、中国地域では65.3%、四国地域では72.6%それぞれ減少しています。

飼養頭数も減少傾向で推移しており、令和7年は20年前に比べ、中国地域では28.4%、四国地域では51.4%それぞれ減少しています。

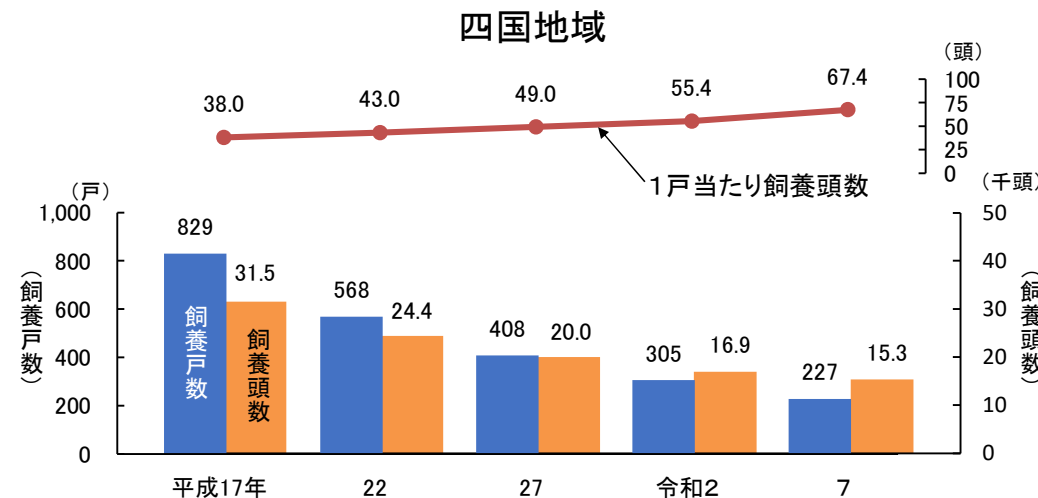
1戸当たり飼養頭数は、増加傾向で推移しており、令和7年は20年前に比べ、中国地域では106.1%、四国地域では77.4%それぞれ増加しています。

飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数の推移



県別の飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数(令和7年)

県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
鳥取	94	8,520	90.6
島根	69	10,500	152.2
岡山	170	15,100	88.8
広島	103	7,810	75.8
山口	47	2,350	50.0



県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
徳島	66	3,030	45.9
香川	50	4,980	99.6
愛媛	70	4,280	61.1
高知	41	3,050	74.4

注：1 令和2年以降は、牛個体識別全国データベース等の行政記録情報や関係統計により作成した加工統計です。

2 最新年（令和7年）のデータは、第1報（令和7年7月25日公表）によります。

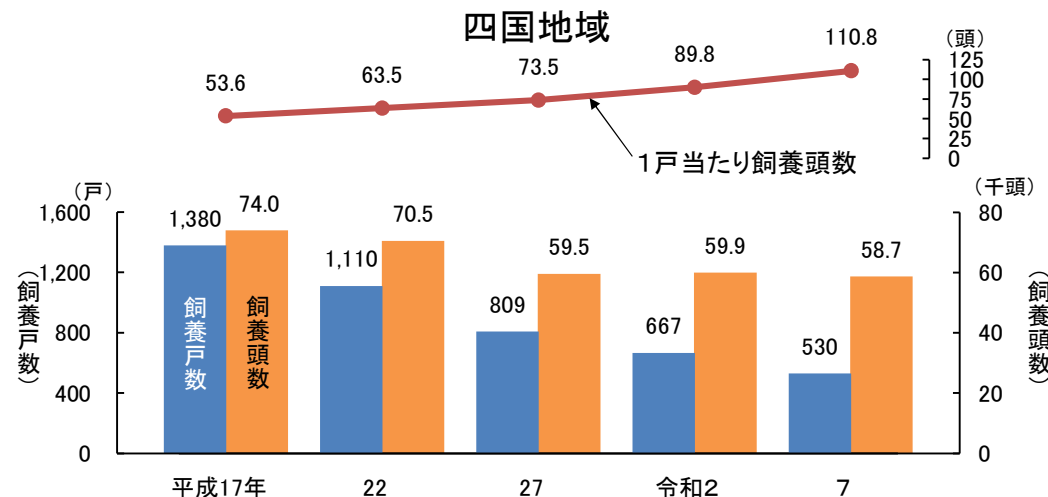
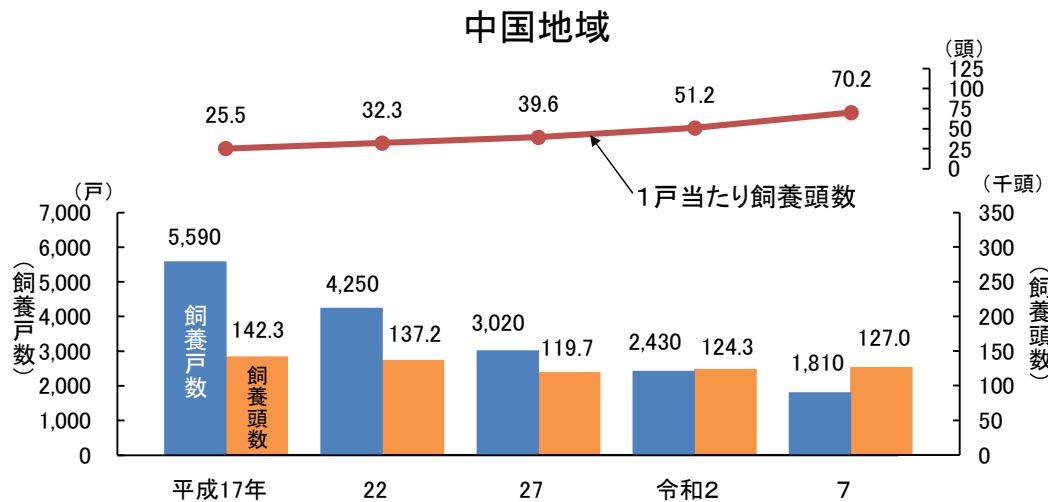
畜産(肉用牛)

中国四国地域における肉用牛の飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和7年は20年前（平成17年）に比べ、中国地域では67.6%、四国地域では61.6%それぞれ減少しています。

飼養頭数は、令和に入って増加傾向にあるものの、20年前に比べ、中国地域では10.8%、四国地域では20.7%それぞれ減少しています。

1戸当たり飼養頭数は、増加傾向で推移しており、令和7年は20年前に比べ、中国地域では175.3%、四国地域では106.7%それぞれ増加しています。

飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数の推移



県別の飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数(令和7年)

県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
鳥取	219	21,500	98.2
島根	591	31,600	53.5
岡山	338	33,800	100.0
広島	366	26,300	71.9
山口	297	13,800	46.5

県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
徳島	157	21,900	139.5
香川	139	21,200	152.5
愛媛	128	9,540	74.5
高知	106	6,050	57.1

注：1 令和2年以降は、牛個体識別全国データベース等の行政記録情報や関係統計により作成した加工統計です。

2 最新年（令和7年）のデータは、第1報（令和7年7月25日公表）によります。

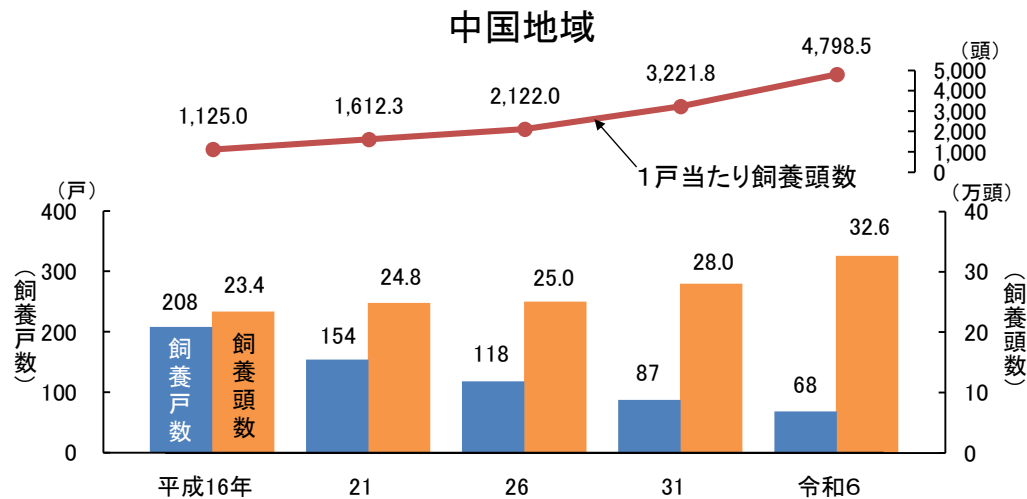
畜産(豚)

中国四国地域における豚の飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和6年は20年前（平成16年）に比べ、中国地域では67.3%、四国地域では65.6%それぞれ減少しています。

飼養頭数は、中国地域では増加傾向で推移しており、令和6年は20年前に比べ、39.4%増加しています。四国地域では概ね減少傾向で推移しており、令和6年は20年前に比べ、16.6%減少しています。

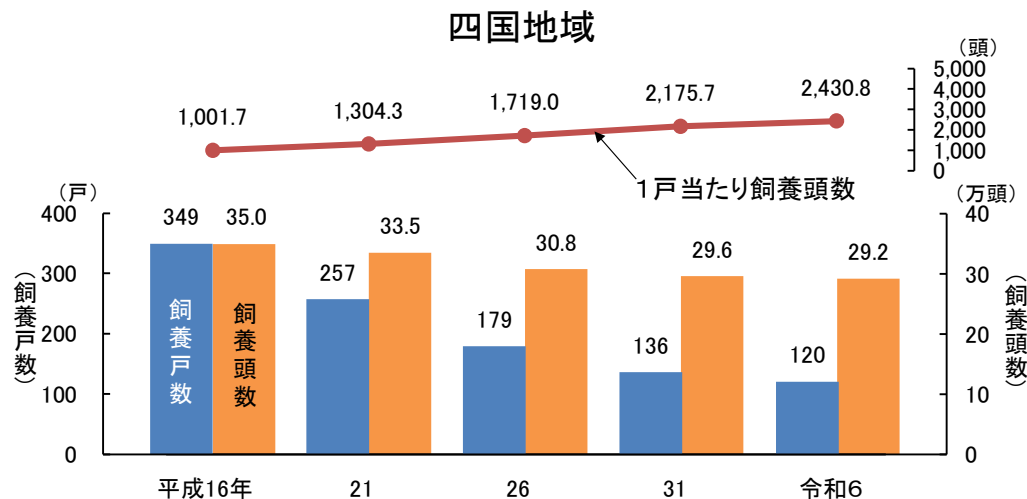
1戸当たり飼養頭数は、増加傾向で推移しており、令和6年は20年前に比べ、中国地域では326.5%、四国地域では142.7%それぞれ増加

飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数の推移



県別の飼養戸数・飼養頭数及び1戸当たり飼養頭数(令和6年)

県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
鳥取	14	61,800	4,414.3
島根	5	39,200	7,840.0
岡山	19	45,600	2,400.0
広島	24	147,600	6,150.0
山口	6	32,100	5,350.0



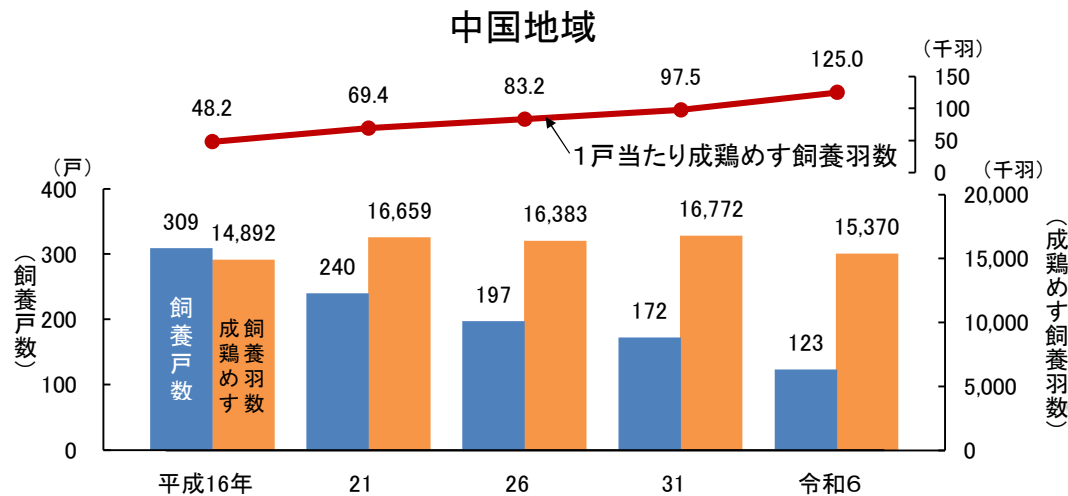
県名	飼養戸数 (戸)	飼養頭数 (頭)	1戸当たり 飼養頭数 (頭)
徳島	18	45,300	2,516.7
香川	20	27,900	1,395.0
愛媛	67	196,500	2,932.8
高知	15	21,900	1,460.0

畜産(採卵鶏)

中国四国地域における採卵鶏の飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和6年は20年前（平成16年）に比べ、中国地域では60.2%、四国地域では68.1%それぞれ減少しています。

1戸当たり成鶏めす飼養羽数は、増加傾向で推移しており、令和6年は20年前に比べ、中国地域では159.3%、四国地域では129.8%それぞれ増加しています。

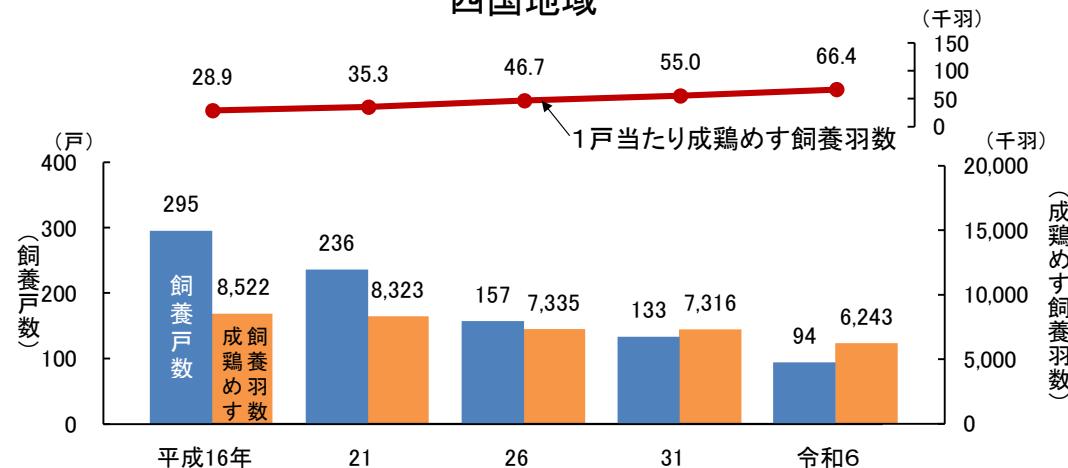
飼養戸数・成鶏めす飼養羽数及び
1戸当たり成鶏めす飼養羽数の推移



県別の飼養戸数・成鶏めす飼養羽数及び
1戸当たり成鶏めす飼養羽数(令和6年)

県名	飼養戸数 (戸)	成鶏めす 飼養羽数 (千羽)	1戸当たり成鶏めす 飼養羽数(千羽)
鳥取	8	230	28.8
島根	14	761	54.4
岡山	48	7,089	147.7
広島	40	6,133	153.3
山口	13	1,157	89.0

四国地域



県名	飼養戸数 (戸)	成鶏めす 飼養羽数 (千羽)	1戸当たり成鶏めす 飼養羽数(千羽)
徳島	14	641	45.8
香川	36	3,721	103.4
愛媛	35	1,635	46.7
高知	9	246	27.3

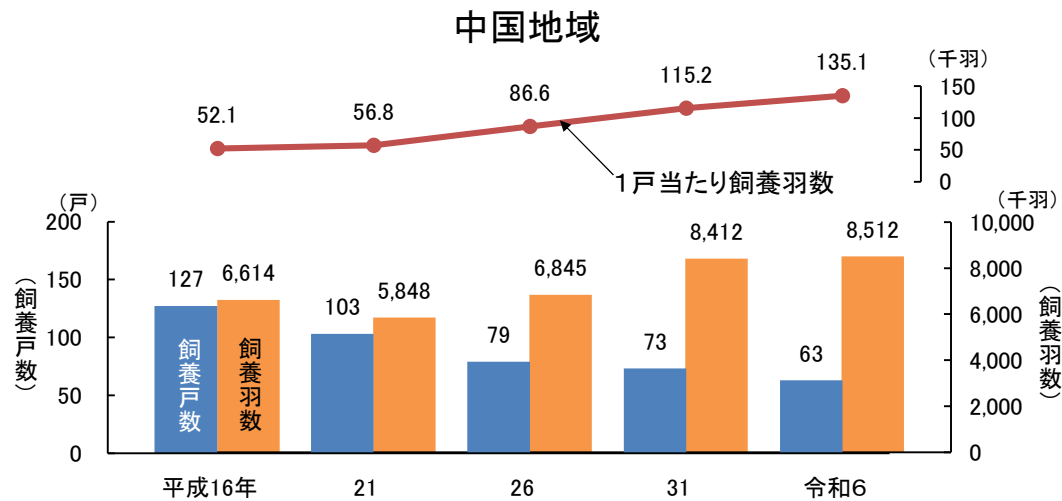
畜産(ブロイラー)

中国四国地域におけるブロイラーの飼養戸数は、減少傾向で推移しており、令和6年は20年前（平成16年）に比べ、中国地域では50.4%、四国地域では51.1%それぞれ減少しています。

令和6年の飼養羽数は、20年前に比べ、中国地域では28.7%増加し、四国地域では8.6%減少しています。

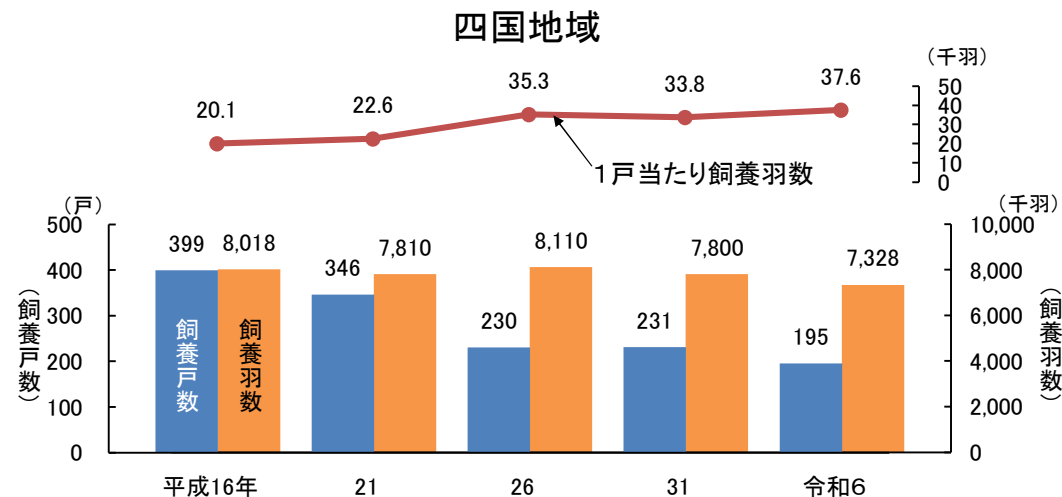
1戸当たり飼養羽数は、増加傾向で推移しており、令和6年は20年前に比べ、中国地域では159.3%、四国地域では87.1%それぞれ増加しています。

飼養戸数・飼養羽数及び1戸当たり飼養羽数の推移



県別の飼養戸数・飼養羽数及び1戸当たり飼養羽数(令和6年)

県名	飼養戸数 (戸)	飼養羽数 (千羽)	1戸当たり 飼養羽数 (千羽)
鳥取	11	3,151	286.5
島根	4	377	94.3
岡山	18	2,840	157.8
広島	8	647	80.9
山口	22	1,497	68.0



県名	飼養戸数 (戸)	飼養羽数 (千羽)	1戸当たり 飼養羽数 (千羽)
徳島	134	3,855	28.8
香川	30	2,119	70.6
愛媛	22	957	43.5
高知	9	397	44.1

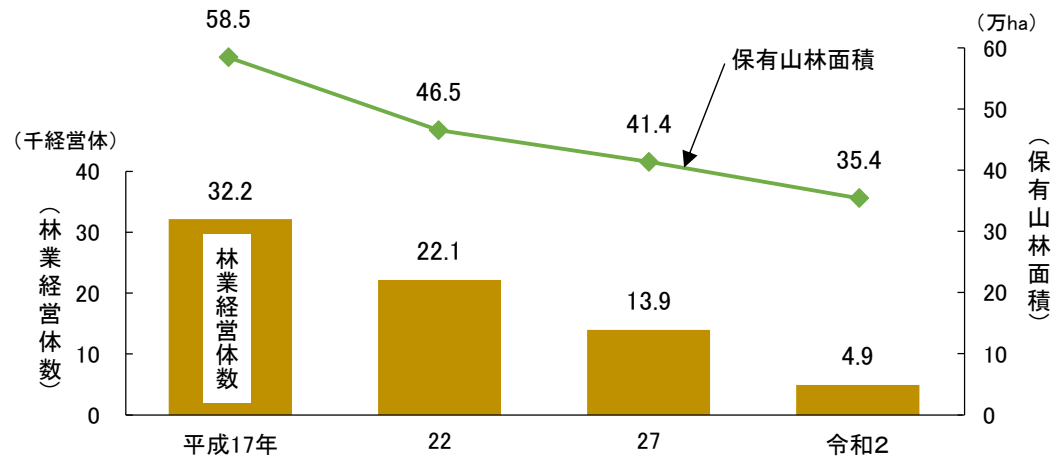
林業経営体と保有山林面積

中国四国地域における林業経営体は、後継者不足による廃業等により減少傾向で推移しており、令和2年は15年前（平成17年）に比べ、中国地域では84.8%、四国地域では86.7%それぞれ減少しています。

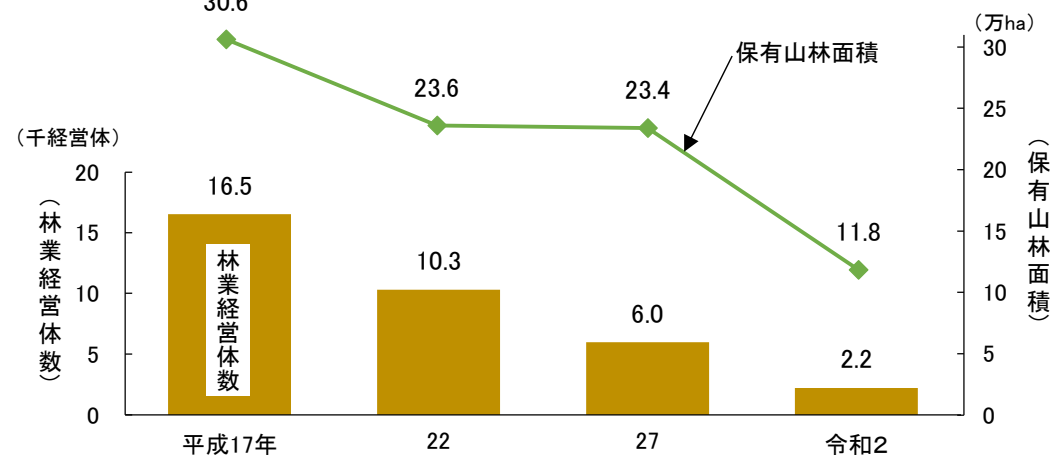
林業経営体の保有山林面積も減少傾向で推移しており、15年前に比べ、中国地域では39.5%、四国地域では61.4%それぞれ減少しています。

林業経営体数及び保有山林面積の推移

中国地域



四国地域



資料: 農林水産省「農林業センサス」

各県における林業及び林業経営の概況(令和2年)

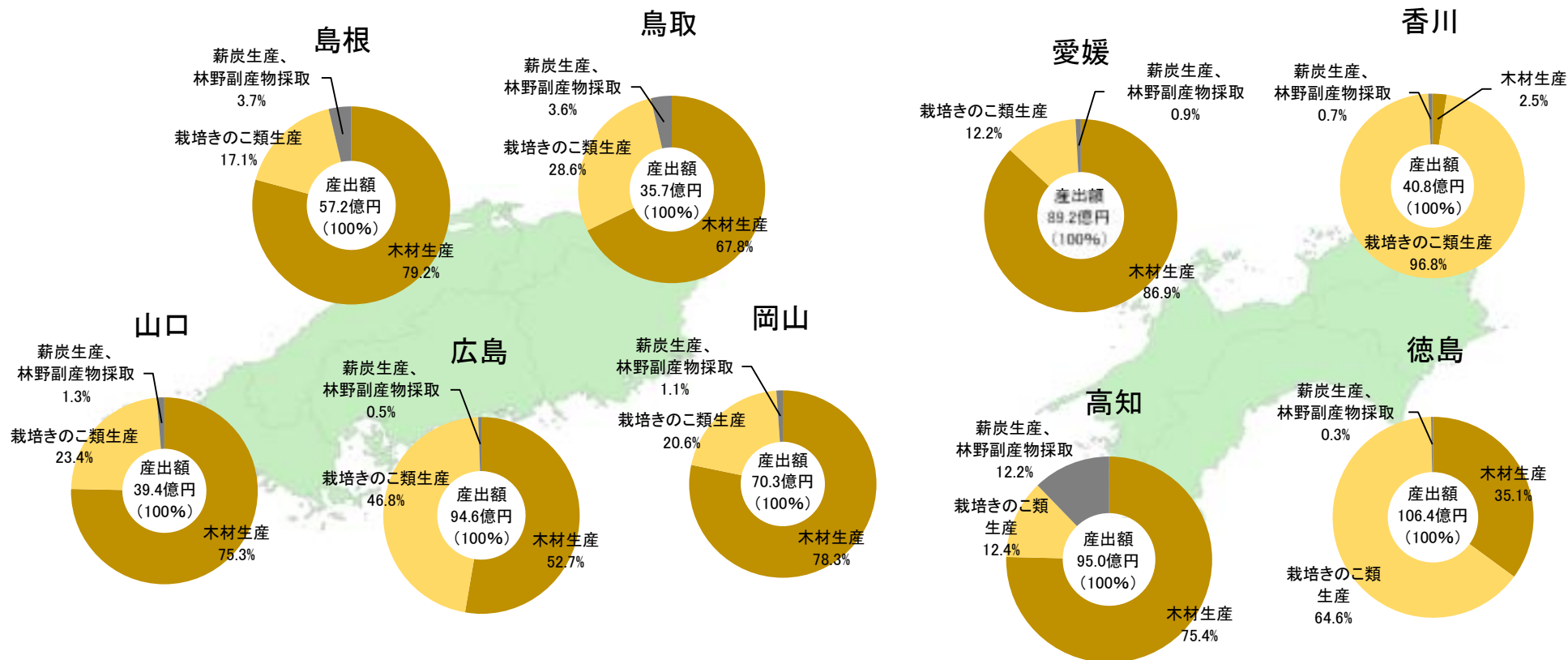
県名	総土地面積 (ha)	林野面積 (ha)	林野率 (%)	林業経営体数 (経営体)	保有山林面積 (ha)
鳥取	350,714	258,432	73.7	843	44,820
島根	670,827	527,839	78.7	875	86,675
岡山	711,433	488,606	68.7	1,174	75,729
広島	847,964	618,092	72.9	1,453	85,011
山口	611,253	439,738	71.9	543	62,030

県名	総土地面積 (ha)	林野面積 (ha)	林野率 (%)	林業経営体数 (経営体)	保有山林面積 (ha)
徳島	414,675	313,071	75.5	264	18,862
香川	187,679	87,183	46.5	88	3,172
愛媛	567,616	401,018	70.6	968	35,514
高知	710,364	594,234	83.7	882	60,747

林業産出額

各県の林業産出額を部門別でみると、中国地域ではいずれの県も木材生産の割合が高く、四国地域では徳島県、香川県で栽培きのご類生産の割合が高く、愛媛県、高知県で木材生産の割合が高くなっています。

各県の林業産出額(令和5年)



注：円グラフの「薪炭生産、林野副産物採取」は、便宜上、産出額（総額）から木材生産及び栽培きのご類生産を差し引いた金額の割合としています。

資料：農林水産省「令和5年林業産出額」

各県における主な林産物生産量

中国地域の素材生産量は、鳥取県、島根県、広島県、山口県では「すぎ」、岡山県では「ひのき」が多くなっています。四国地域の素材生産量は、徳島県、愛媛県では「すぎ」、香川県、高知県では「ひのき」が多くなっています。

中国地域のきのこ類生産量は、いずれの県も「生しいたけ」が多くなっています。四国地域のきのこ類生産量は、徳島県では「生しいたけ」、香川県、高知県では「ぶなしめじ」、愛媛県では「えのきたけ」が多くなっています。

各県における素材生産量と主なきのこ類の生産量(令和5年)

島根県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	405 千㎡	16位
すぎ	224 千㎡	15位
広葉樹	84 千㎡	5位
ひのき	75 千㎡	16位
あかまつ・くろまつ	13 千㎡	7位
生しいたけ	789 t	24位
まいたけ	186 t	8位
乾しいたけ	67 t	20位
エリンギ	7 t	11位
なめこ	3 t	27位

鳥取県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	254 千㎡	25位
すぎ	176 千㎡	19位
ひのき	45 千㎡	22位
広葉樹	23 千㎡	18位
あかまつ・くろまつ	7 千㎡	11位
生しいたけ	321 t	34位
エリンギ	319 t	5位
えのきたけ	208 t	11位
ぶなしめじ	98 t	15位
乾きくらげ類	78 t	4位

愛媛県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	600 千㎡	12位
すぎ	343 千㎡	11位
ひのき	254 千㎡	2位
あかまつ・くろまつ	3 千㎡	16位
えのきたけ	857 t	9位
乾しいたけ	701 t	4位
生しいたけ	423 t	31位
乾きくらげ類	43 t	6位
生きくらげ類	8 t	26位

香川県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	9 千㎡	45位
ひのき	5 千㎡	32位
すぎ	2 千㎡	46位
広葉樹	2 千㎡	38位
ぶなしめじ	5,154 t	4位
生しいたけ	119 t	43位
乾しいたけ	5 t	47位

山口県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	222 千㎡	26位
すぎ	135 千㎡	23位
ひのき	59 千㎡	18位
広葉樹	24 千㎡	17位
あかまつ・くろまつ	4 千㎡	14位
生しいたけ	330 t	33位
乾しいたけ	87 t	18位
エリンギ	3 t	13位
ひらたけ	1 t	28位

広島県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	366 千㎡	19位
すぎ	149 千㎡	21位
ひのき	111 千㎡	12位
広葉樹	93 千㎡	4位
あかまつ・くろまつ	13 千㎡	7位
生しいたけ	728 t	25位
乾しいたけ	41 t	27位
なめこ	9 t	22位
生きくらげ類	4 t	28位
乾きくらげ類	3 t	24位

岡山県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	384 千㎡	18位
ひのき	238 千㎡	4位
すぎ	110 千㎡	29位
広葉樹	26 千㎡	15位
その他	6 千㎡	10位
生しいたけ	1,428 t	16位
生きくらげ類	56 t	13位
乾しいたけ	34 t	32位
乾きくらげ類	26 t	11位
ぶなしめじ	24 t	18位

高知県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	555 千㎡	13位
ひのき	250 千㎡	3位
すぎ	206 千㎡	17位
その他	95 千㎡	1位
広葉樹	4 千㎡	34位
ぶなしめじ	1,041 t	8位
生しいたけ	413 t	32位
乾しいたけ	143 t	12位
乾きくらげ類	29 t	10位
生きくらげ類	27 t	16位

徳島県		
品 目	生産量	全国順位
素材生産量	321 千㎡	22位
すぎ	249 千㎡	14位
生しいたけ	7,200 t	1位
乾しいたけ	47 t	25位

資料：農林水産省「令和5年木材需給報告書」、「令和5年特用林産基礎資料」

注：1 素材生産量の「その他」は、「あかまつ・くろまつ」、「すぎ」、「ひのき」、「からまつ」、「えぞまつ・とどまつ」以外の針葉樹です。

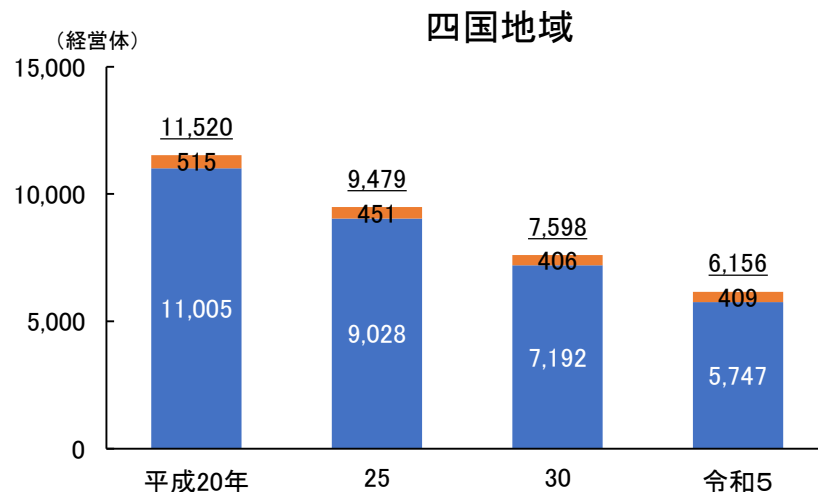
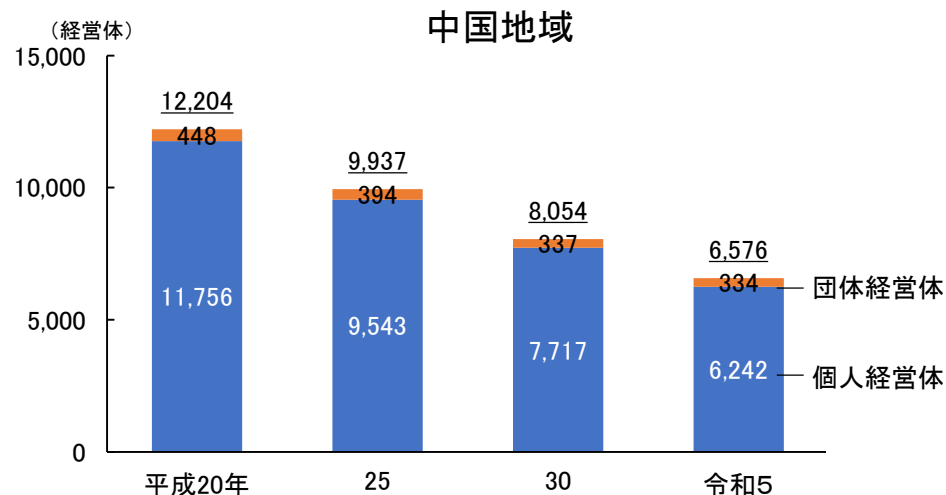
2 「乾しいたけ」、「乾きくらげ類」の生産量は、生換算値です。

海面漁業経営体数及び漁業就業者数

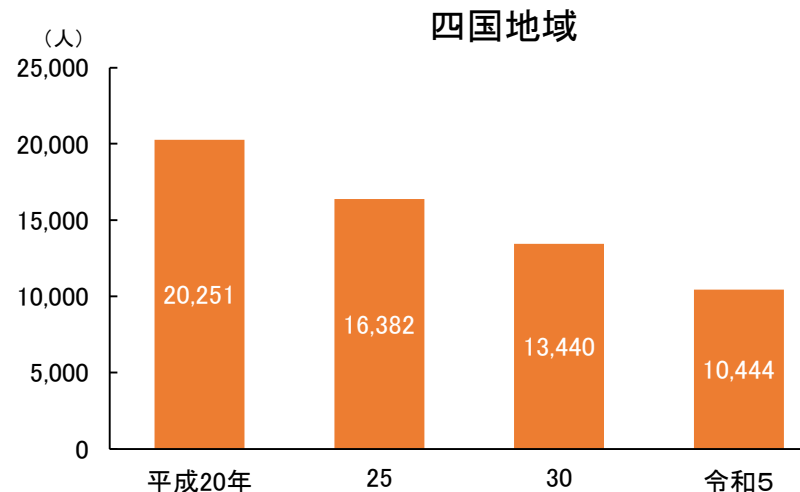
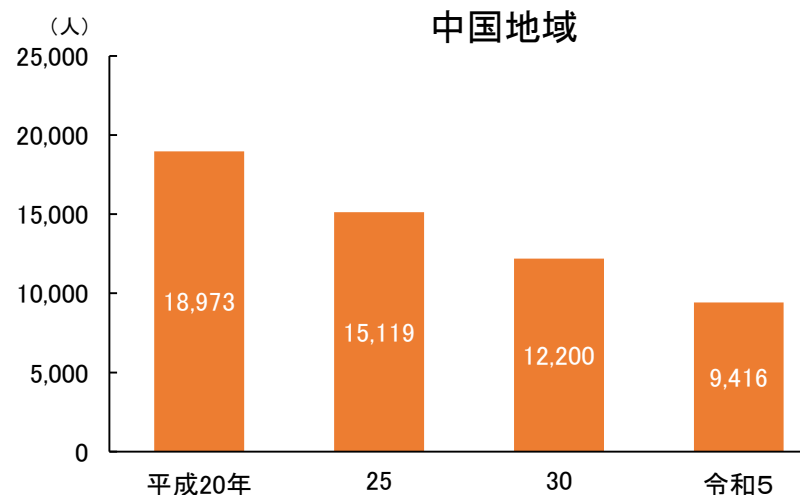
令和5年における海面漁業経営体数は、中国地域が6,576経営体、四国地域が6,156経営体で、15年前（平成20年）に比べ、46.1%、46.6%それぞれ減少しています。

漁業就業者数は、中国地域が9,416人、四国地域が1万444人で、15年前（平成20年）に比べ、50.4%、48.4%それぞれ減少しています。

海面漁業経営体数の推移



漁業就業者数の推移

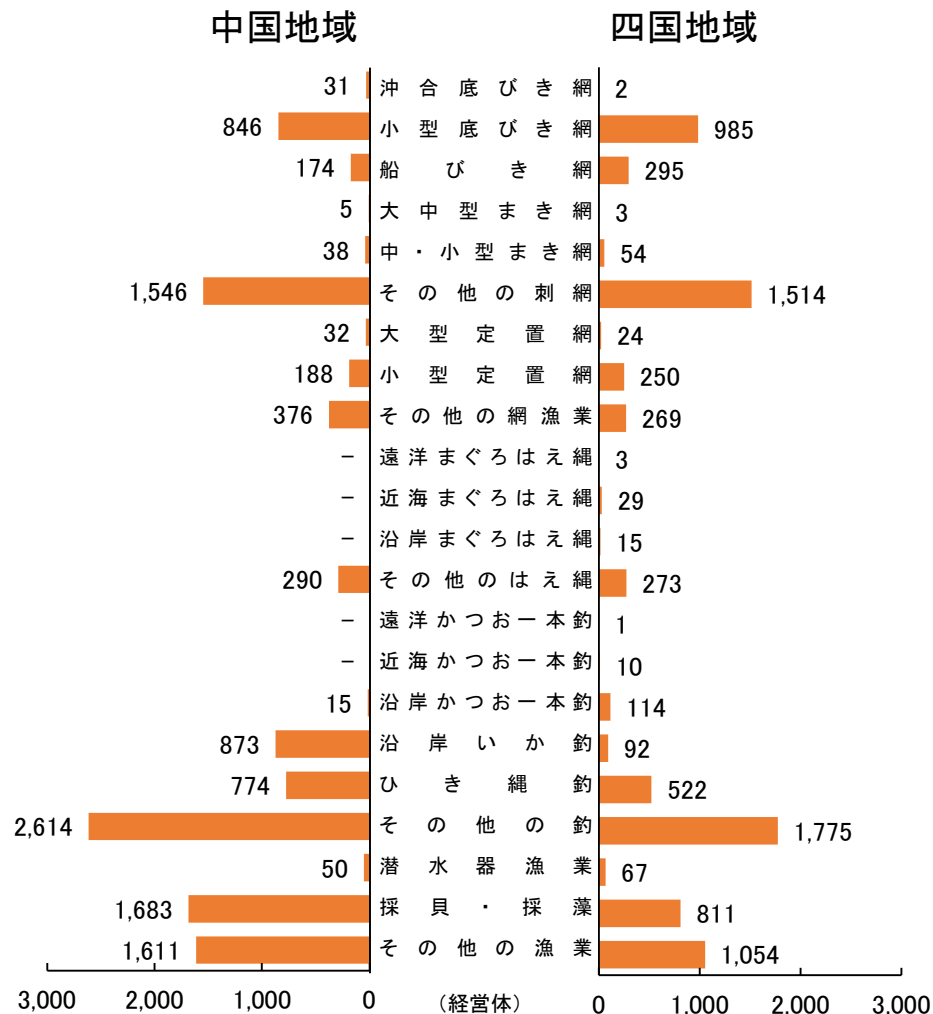


資料：農林水産省「漁業センサス」

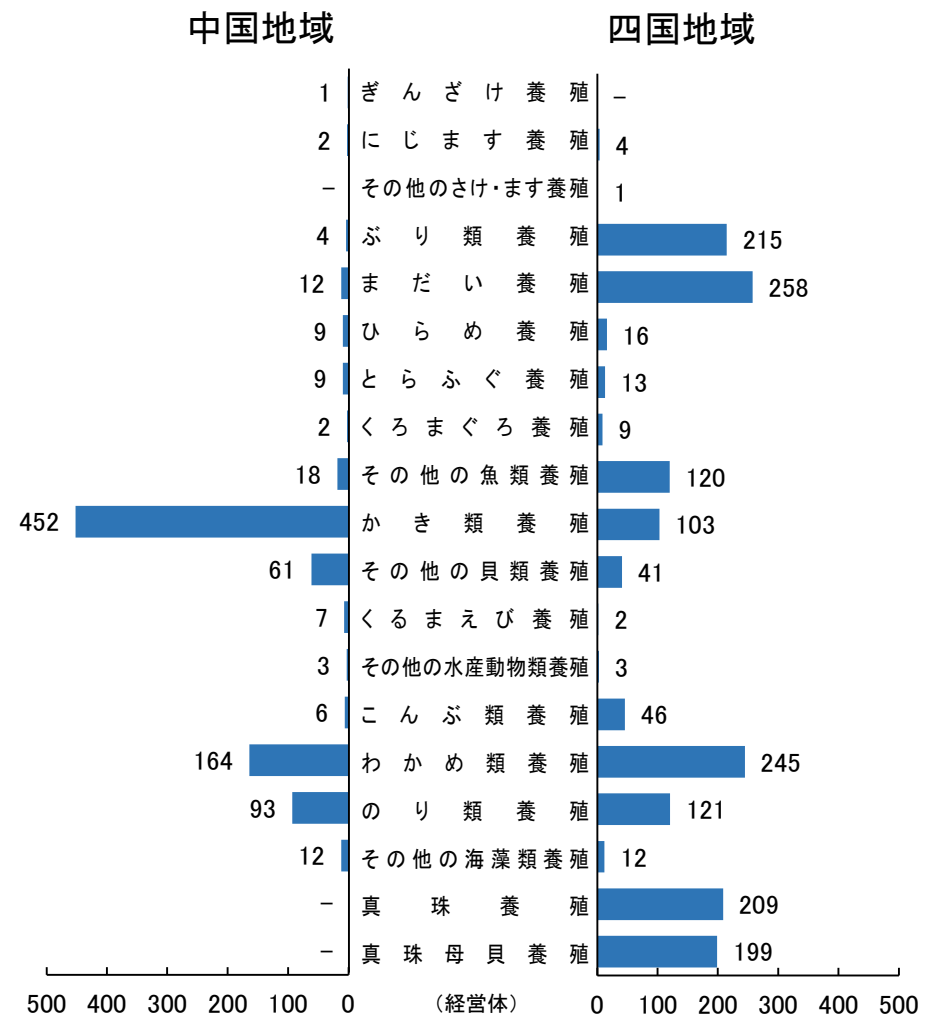
海面漁業経営体数（営んだ漁業種類・養殖種類別）

令和5年における海面漁業経営体を営んだ漁業種類別にみると、中国地域では「その他の釣」（2,614経営体）が最も多く、次いで「採貝・採藻」、
「その他の漁業」の順、四国地域では「その他の釣」（1,775経営体）が最も多く、次いで「その他の刺網」、「その他の漁業」の順となっています。
営んだ養殖種類別にみると、中国地域では「かき類養殖」（452経営体）が最も多く、次いで「わかめ類養殖」、「のり類養殖」の順、四国地域では
「まだい養殖」（258経営体）が最も多く、次いで「わかめ類養殖」、「ぶり類養殖」の順となっています。

営んだ漁業種類別経営体数(複数回答)



営んだ養殖種類別経営体数(複数回答)

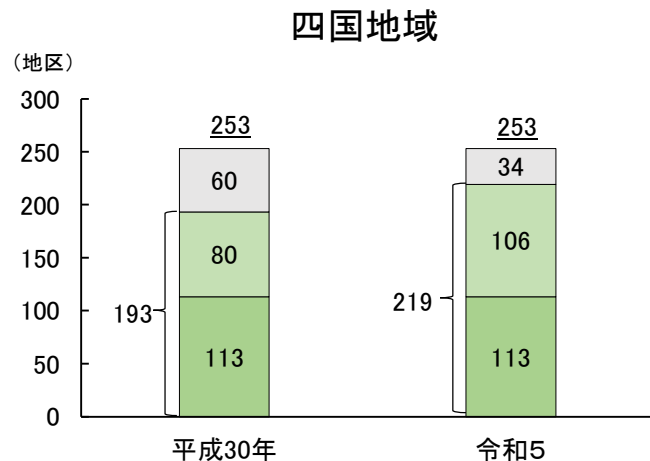
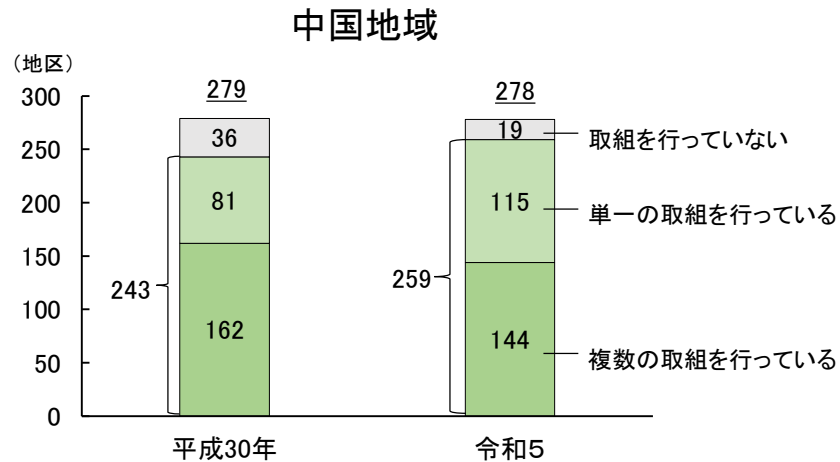


資源管理・漁場改善の取組（海面漁業）

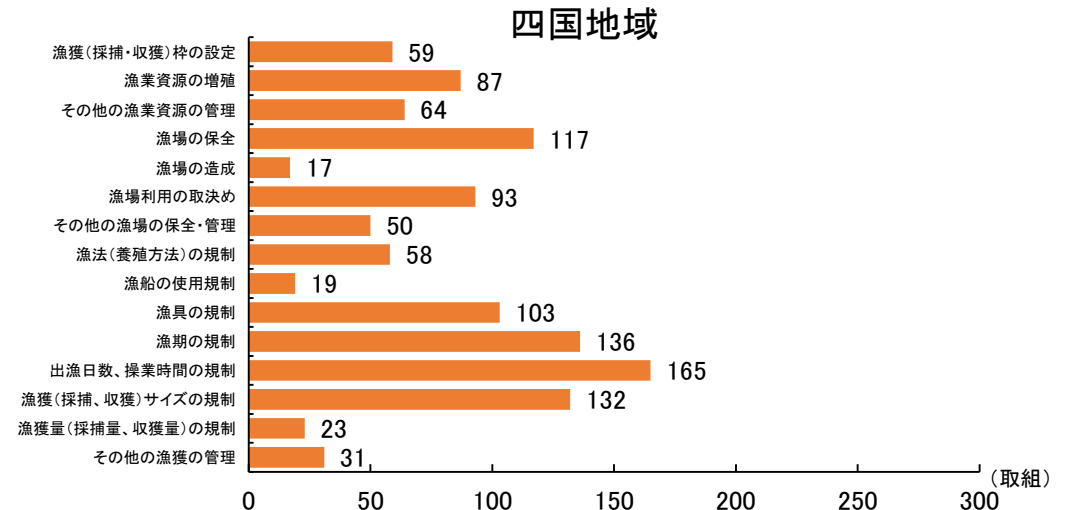
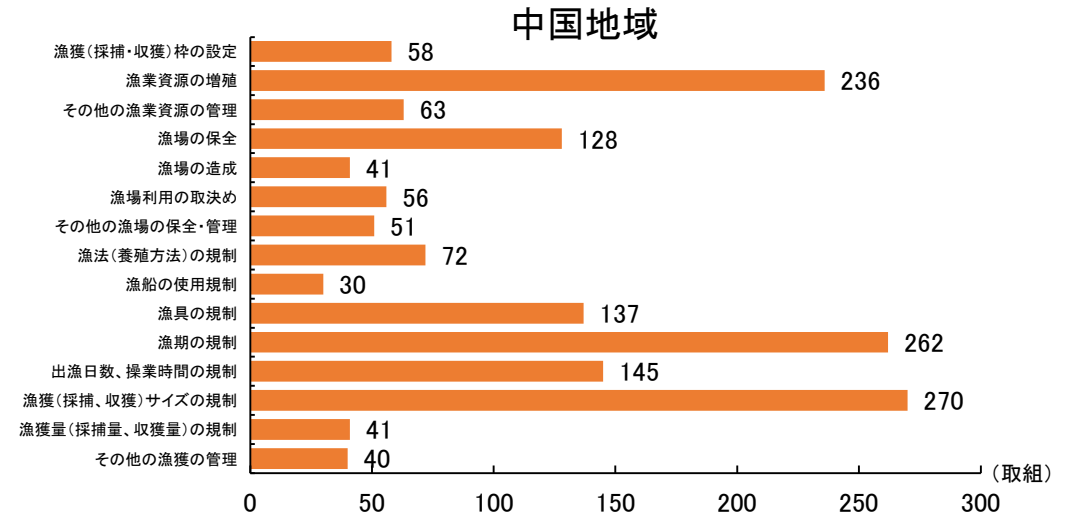
令和5年における漁業地区（中国地域：278地区、四国地域：253地区）のうち、漁業協同組合が関係する資源管理や漁場改善を目的とした取組を行っている漁業地区は、中国地域が259地区、四国地域が219地区で、5年前（平成30年）に比べ、6.6%、13.5%それぞれ増加しています。

同取組を管理内容別にみると、中国地域では「漁獲（採捕、収穫）サイズの規制」（270取組）が最も多く、四国地域では「出漁日数、作業時間の規制」（165取組）が最も多くなっています。

資源管理・漁場改善の取組の有無別地区数の推移



資源管理・漁場改善の管理内容別取組数（複数回答）

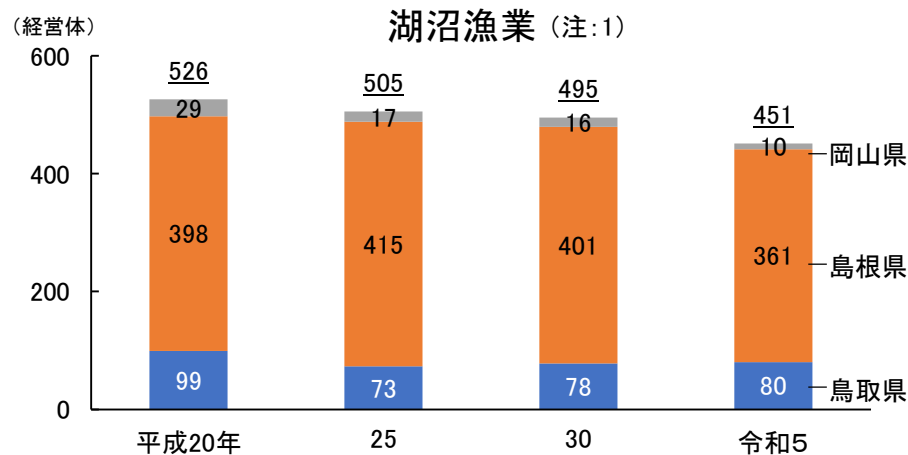


内水面漁業経営体数及び従事者数

令和5年における湖沼漁業（注：1参照）経営体数は451経営体で、15年前（平成20年）に比べ、14.3%減少しています。湖沼漁業の湖上作業従事者数は554人で、15年前（平成20年）に比べ、26.0%減少しています。

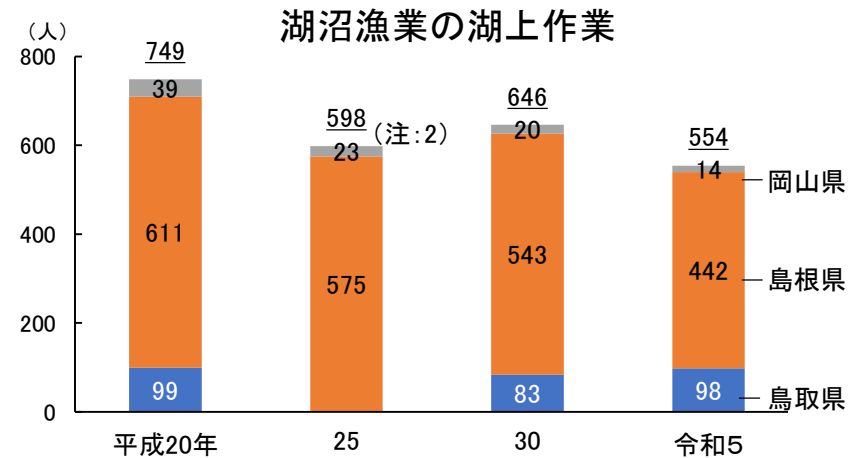
内水面養殖業経営体数は333経営体で、15年前（平成20年）に比べ、47.6%減少しています。内水面養殖業従事者数は1,264人で、15年前（平成20年）に比べ、39.8%減少しています。

湖沼漁業及び内水面養殖業経営体数の推移

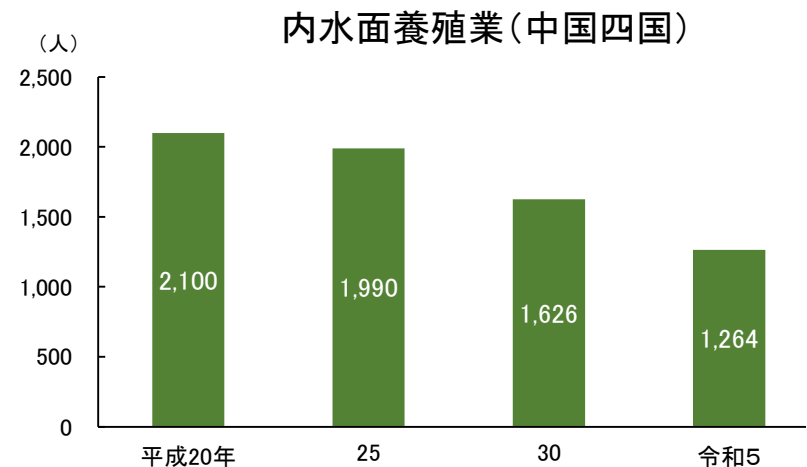
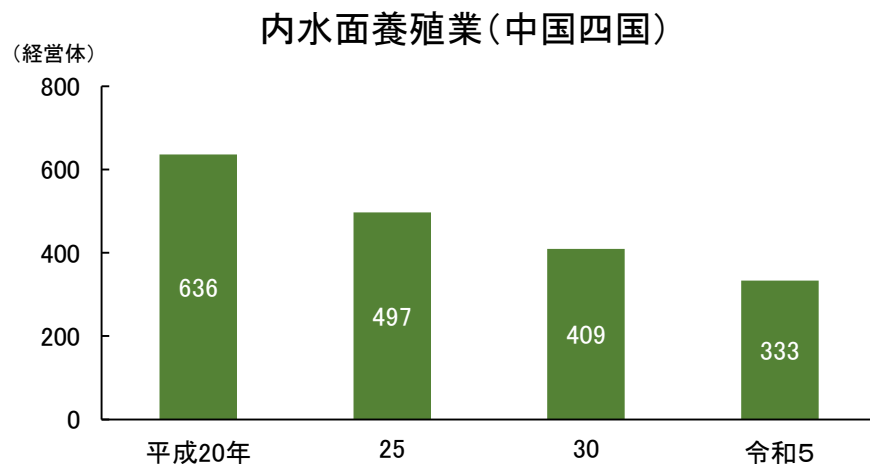


注：1 中国四国地域の湖沼漁業の調査対象は、鳥取県（湖山池、東郷池）・島根県（宍道湖、神西湖）・岡山県（児島湖）の5湖沼です。

湖上作業及び内水面養殖業従事者数の推移



注：2 平成25年は、鳥取県の値が秘匿されているため、島根県と岡山県の合計値です。



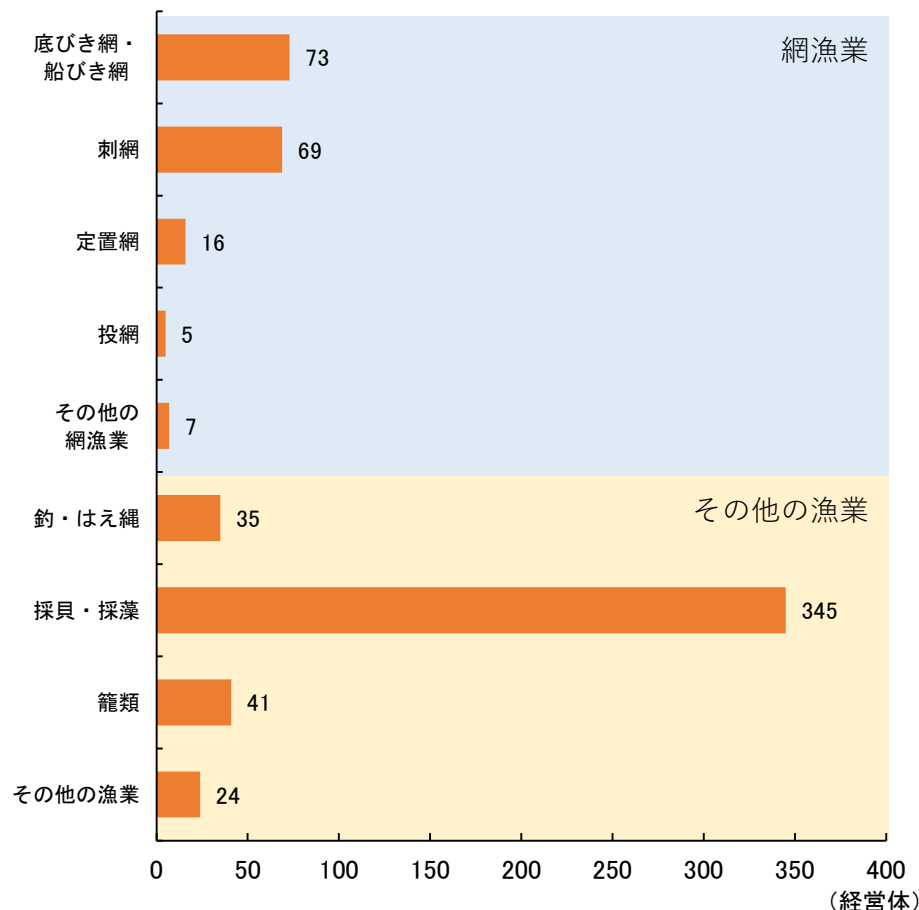
内水面漁業経営体数（営んだ漁業種類・養殖種類別）

令和5年における湖沼漁業経営体を営んだ漁業種類別にみると、「採貝・採藻」（345経営体）が最も多く、次いで「底びき網・船びき網」、「刺網」の順となっています。

内水面養殖業経営体を営んだ養殖種類別にみると、食用の「その他」（115経営体）が最も多く、次いで「うなぎ」、「その他のさけ・ます類」、観賞用の「錦ごい」の順となっています。

湖沼漁業経営体数(営んだ漁業種類別)(複数回答)

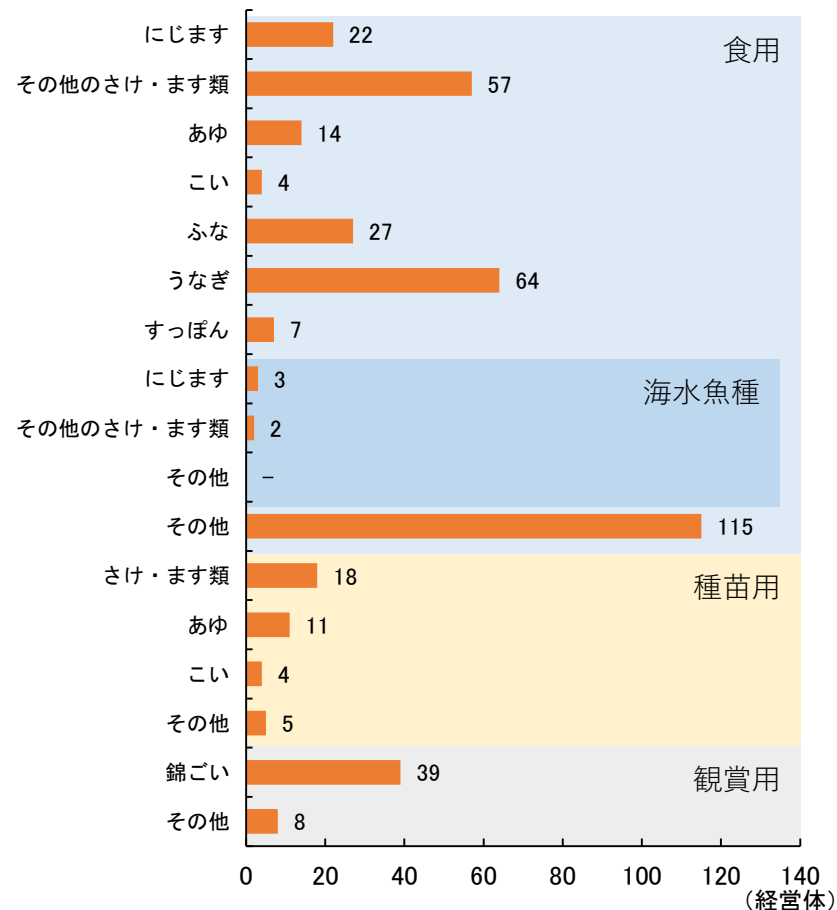
湖沼漁業（注）



注：中国四国地域の湖沼漁業の調査対象は、鳥取県（湖山池、東郷池）・島根県（宍道湖、神西湖）・岡山県（児島湖）の5湖沼です。

内水面養殖業経営体数(営んだ養殖種類別)(複数回答)

内水面養殖業(中国四国)



注：海水魚種とは、海に面していない内陸市町村で海水により養殖しているものをいう。

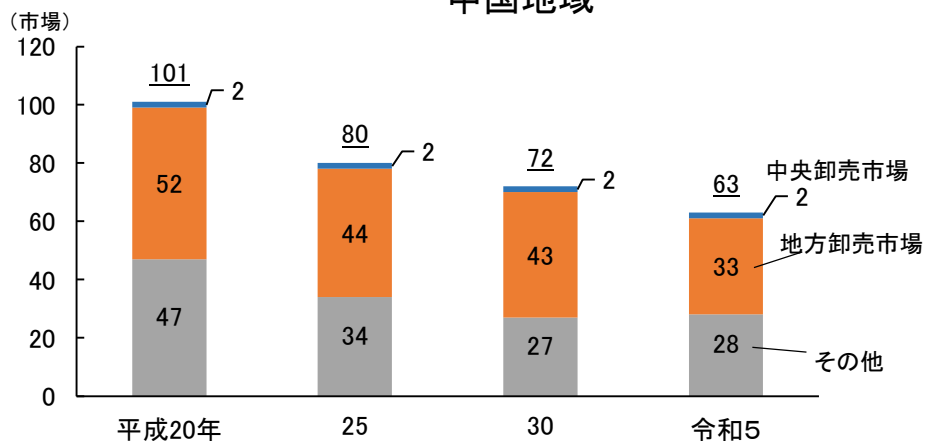
魚市場数及び年間取扱高

令和5年における魚市場数は、中国地域が63市場、四国地域が74市場で、15年前（平成20年）に比べ、37.6%、28.8%それぞれ減少しています。

年間取扱高は、中国地域の取扱数量は24万6千t、取扱金額は1,426億円、四国地域の取扱数量は14万3千t、取扱金額は718億円となっており、それぞれ減少傾向で推移しています。

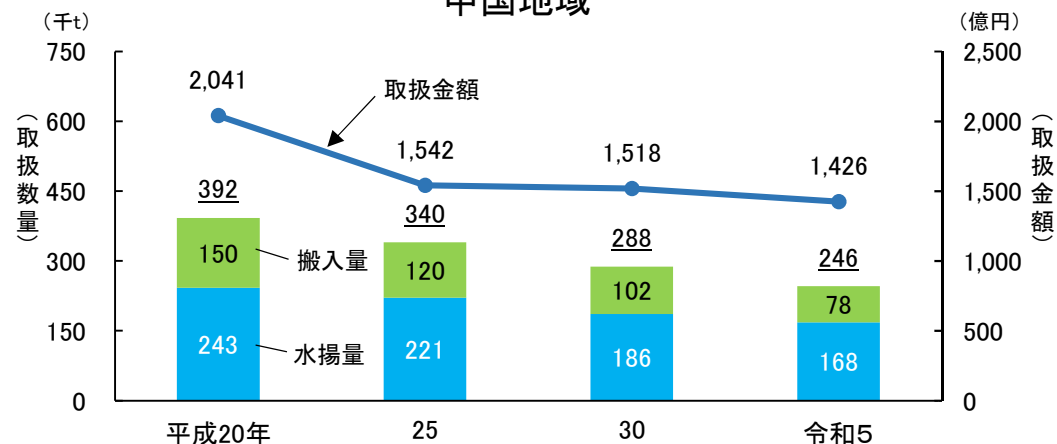
魚市場数の推移

中国地域

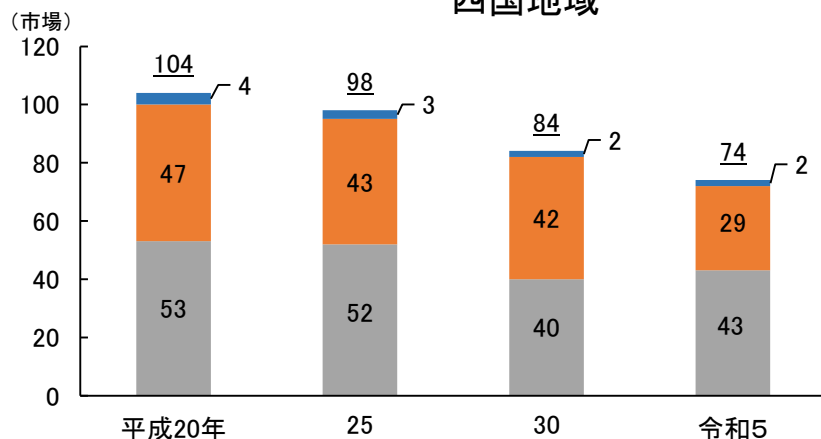


年間取扱高の推移

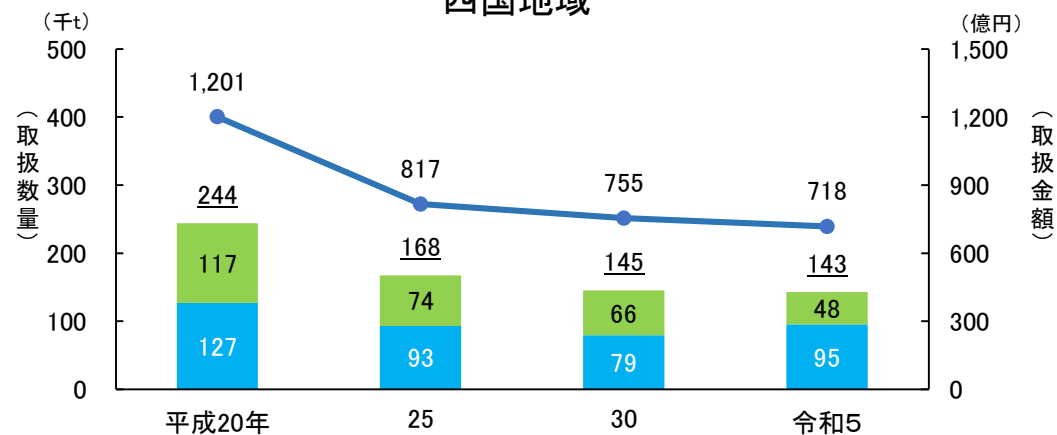
中国地域



四国地域



四国地域

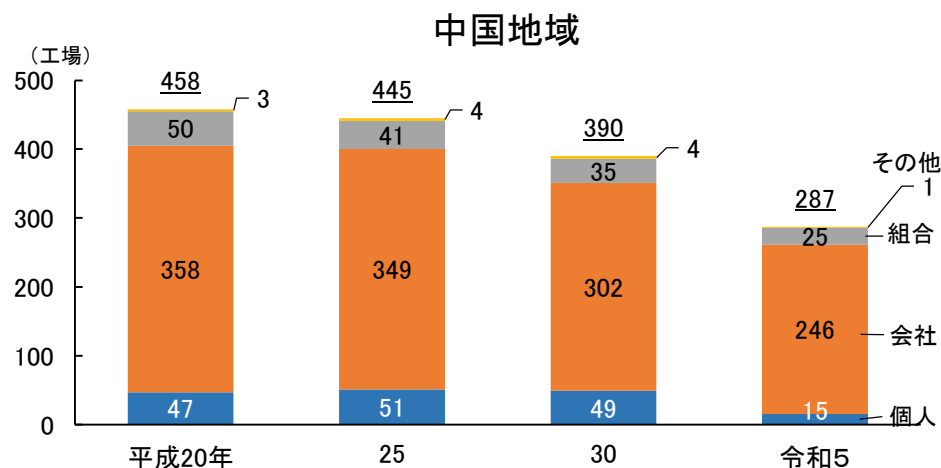


冷凍・冷蔵工場数及び従業者数

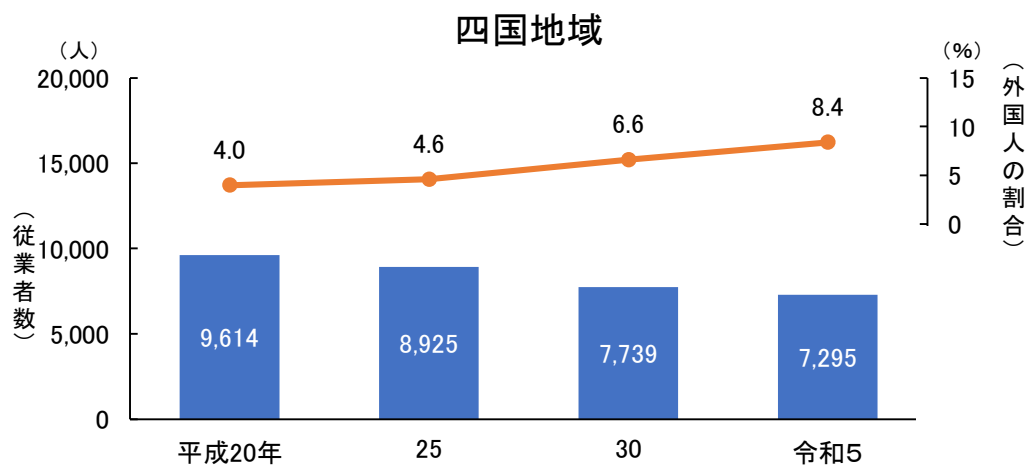
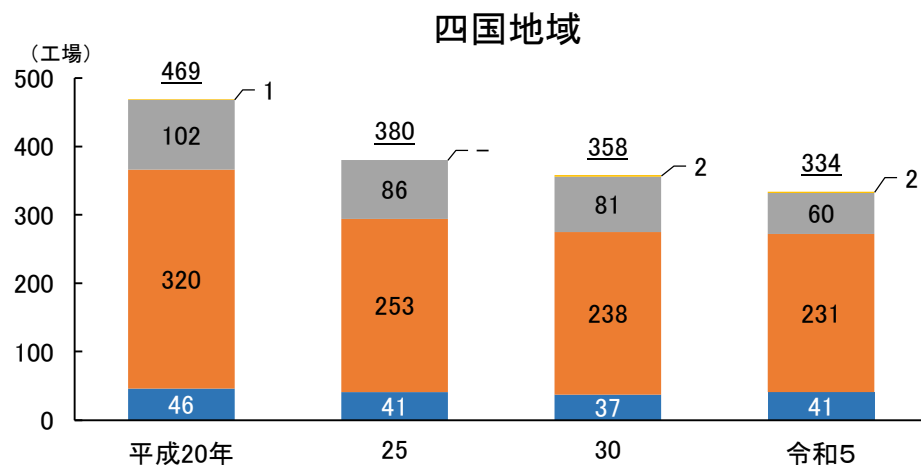
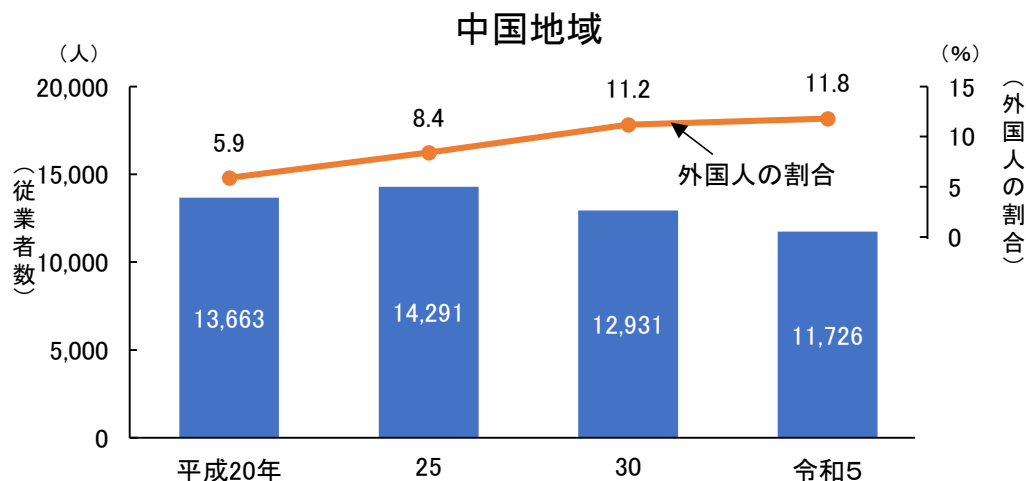
令和5年における冷凍・冷蔵工場数は、中国地域が287工場、四国地域が334工場、15年前（平成20年）に比べ、37.3%、28.8%それぞれ減少しています。

従業者数は、中国地域が1万1,726人、四国地域が7,295人で、15年前（平成20年）に比べ、14.2%、24.1%それぞれ減少しています。従業者のうち外国人の割合は、中国地域が11.8%、四国地域が8.4%で、それぞれ増加傾向で推移しています。

冷凍・冷蔵工場数の推移



冷凍・冷蔵工場従業者数の推移

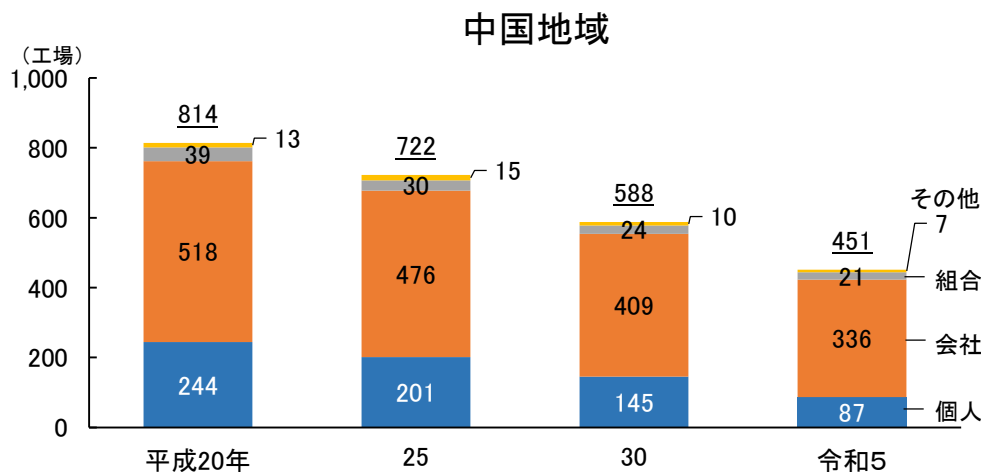


水産加工場数及び従業者数

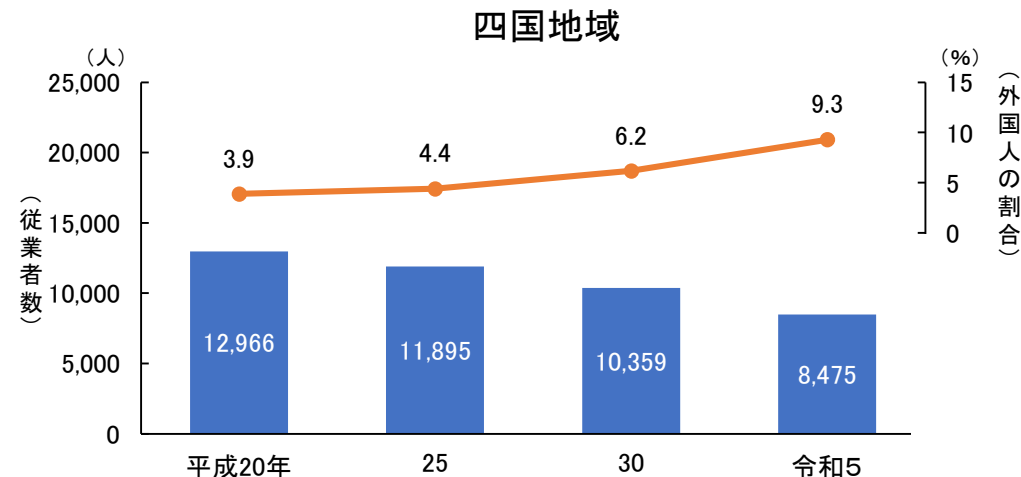
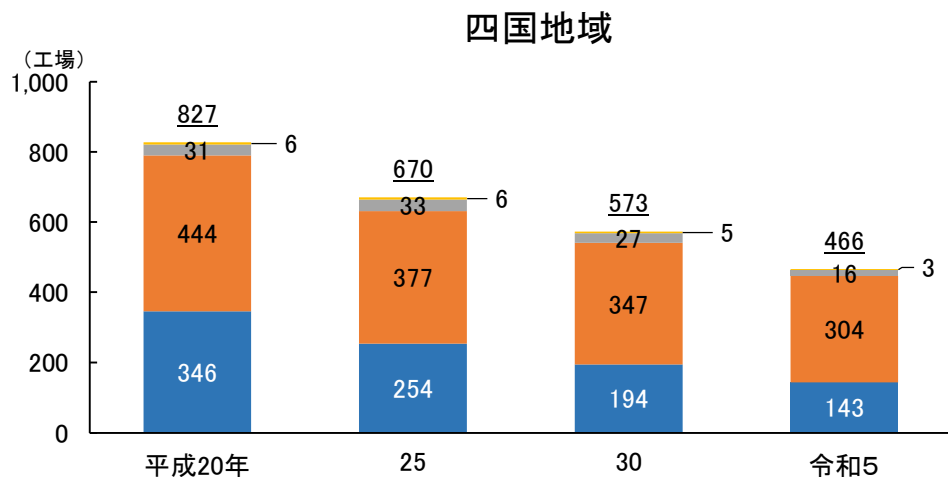
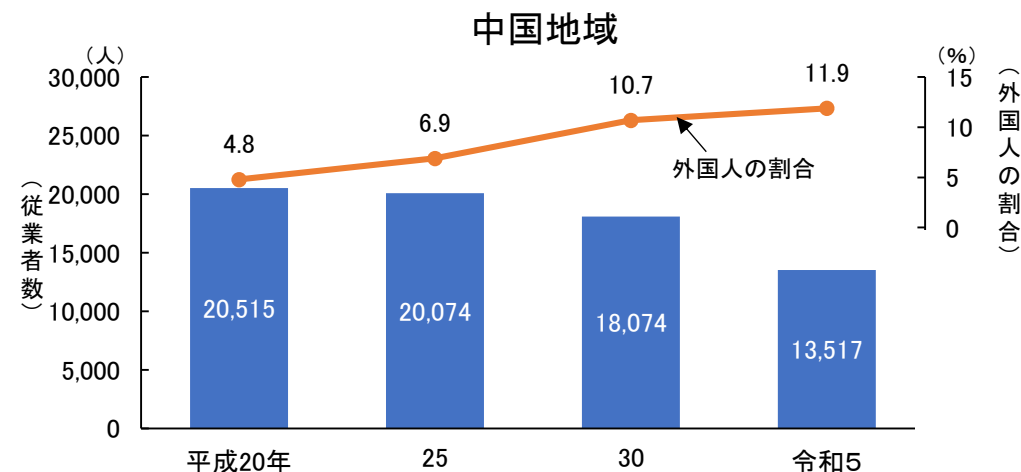
令和5年における水産加工場数は、中国地域が451工場、四国地域が466工場で、15年前（平成20年）に比べ、44.6%、43.7%それぞれ減少しています。

従業者数は、中国地域が1万3,517人、四国地域が8,475人で、15年前（平成20年）に比べ、34.1%、34.6%それぞれ減少しています。従業者数のうち外国人の割合は、中国地域が11.9%、四国地域が9.3%で、それぞれ増加傾向で推移しています。

水産加工場数の推移



水産加工場従業者数の推移

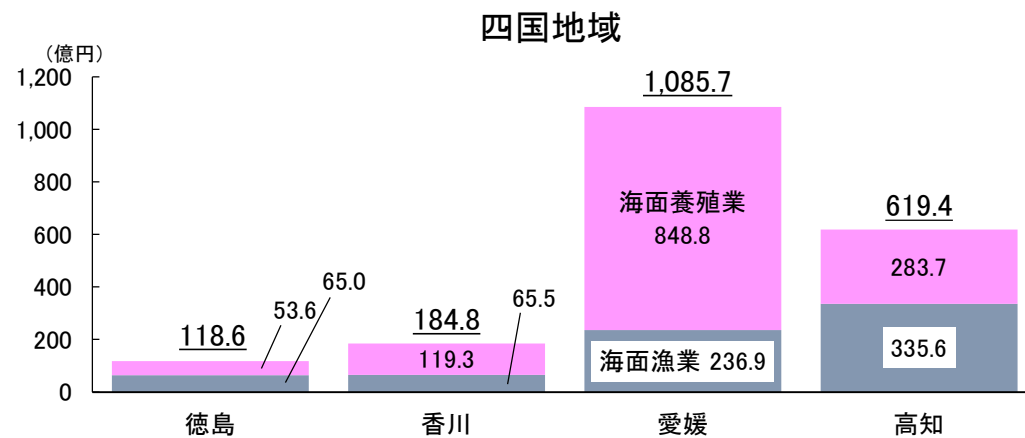
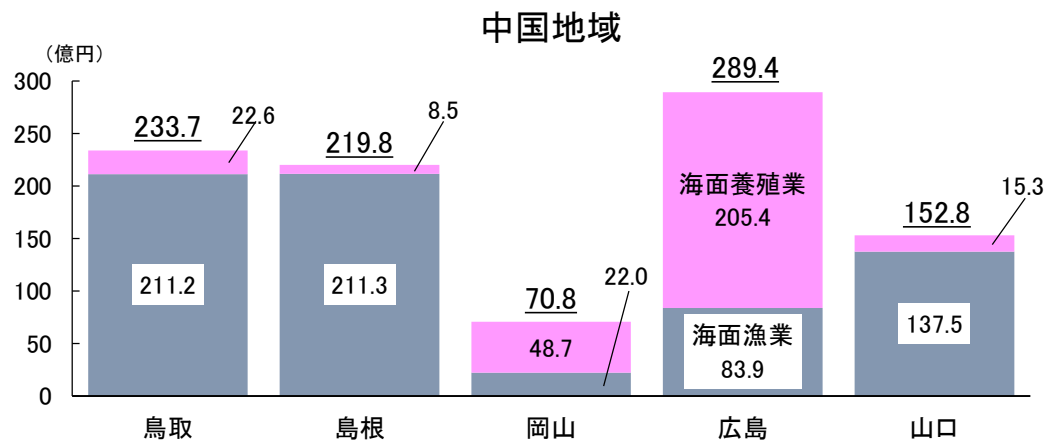


漁業産出額（海面漁業・海面養殖業）

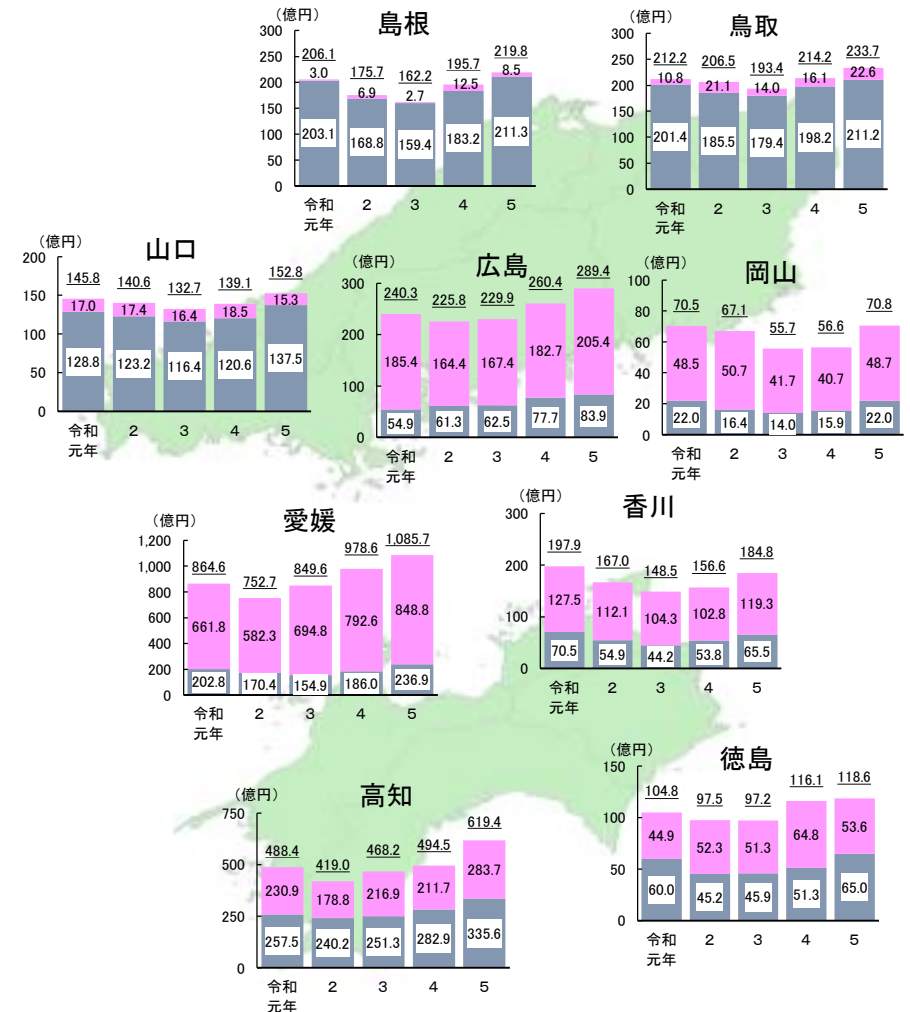
漁業産出額は、中国地域では広島県、四国地域では愛媛県が高く、ともに海面養殖業が盛んです。

中国四国各県の漁業産出額の推移をみると、全般に令和2年・3年頃は減少していましたが、その後は増加傾向で推移しています。

各県の漁業産出額(令和5年)



各県の漁業産出額の推移



漁業生産量（海面漁業・海面養殖業）

中国地域の漁業生産量は、鳥取県、島根県では「まいわし」、岡山県、広島県では「かき類(養)」、山口県では「かたくちいわし」が多くなっています。四国地域の漁業生産量は、徳島県では「わかめ類(養)」、香川県では「かたくちいわし」、愛媛県では「まだい(養)」、高知県では「かつお」が多くなっています。

各県の主要魚種における漁業生産量(令和5年)

島根県 生産量: 102,795 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	まいわし	36,912 t	7位
2	さば類	20,146 t	3位
3	うるめいわし	13,741 t	2位
4	まあじ	11,298 t	2位
5	ぶり類	6,059 t	4位
6	べにずわいがに	2,509 t	1位
7	かれい類	1,422 t	4位
8	きだい	815 t	2位
9	さわら類	693 t	4位
10	まだい	485 t	8位

鳥取県 生産量: 102,302 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	まいわし	60,550 t	3位
2	さば類	10,550 t	9位
3	かつお	8,893 t	10位
4	まあじ	2,616 t	8位
5	かれい類	2,583 t	2位
6	べにずわいがに	2,190 t	2位
7	きはだ	2,145 t	11位
8	うるめいわし	2,116 t	9位
9	ぶり類	1,825 t	13位
10	むろあじ類	1,104 t	6位

愛媛県 生産量: 136,571 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	まだい(養)	37,893 t	1位
2	まいわし	14,874 t	11位
3	ぶり(養)	13,855 t	2位
4	さば類	12,990 t	7位
5	かたくちいわし	12,222 t	4位
6	うるめいわし	7,817 t	4位
7	ぶり類	3,748 t	7位
8	まあじ	2,837 t	5位
9	しまあじ(養)	2,524 t	1位
10	かんぱち(養)	2,389 t	2位
※	真珠(養)	3,673 kg	2位

香川県 生産量: 29,361 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	かたくちいわし	8,580 t	6位
2	くろのり(養)	8,448 t	6位
3	ぶり(養)	4,579 t	7位
4	かんぱち(養)	1,461 t	4位
5	かき類(養)	794 t	11位
6	まだい	644 t	6位
7	しらす	570 t	17位
8	いかなご	452 t	2位
9	まだい(養)	344 t	11位
10	さわら類	319 t	10位

山口県 生産量: 24,912 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	かたくちいわし	4,622 t	9位
2	まいわし	2,901 t	18位
3	さば類	2,295 t	20位
4	まあじ	1,909 t	11位
5	ぶり類	1,667 t	15位
6	まだい	657 t	5位
7	きだい	646 t	3位
8	なまこ類	578 t	3位
9	かれい類	521 t	11位
10	さわら類	482 t	7位

広島県 生産量: 111,088 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	かき類(養)	89,192 t	1位
2	かたくちいわし	14,810 t	2位
3	くろのり(養)	2,629 t	11位
4	しらす	1,441 t	10位
5	まだい	437 t	11位
6	ぶり類	184 t	31位
7	たこ類	150 t	16位
8	わかめ類(養)	146 t	10位
9	くろだい	119 t	6位
10	すずき類	83 t	20位

岡山県 生産量: 19,804 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	かき類(養)	11,557 t	3位
2	くろのり(養)	4,983 t	8位
3	しらす	991 t	12位
4	まだい	385 t	13位
5	くろだい	180 t	4位
6	たこ類	118 t	19位
7	いかなご	116 t	4位
8	なまこ類	76 t	17位
9	ばらのり(養)	75 t	9位
10	かれい類	60 t	28位

高知県 生産量: 79,738 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	かつお	16,699 t	3位
2	ぶり(養)	8,652 t	6位
3	まだい(養)	7,775 t	3位
4	びんなが	7,378 t	2位
5	そうだがつお類	4,476 t	1位
6	うるめいわし	3,728 t	5位
7	めばち	3,526 t	3位
8	きはだ	3,510 t	6位
9	さば類	3,072 t	18位
10	まあじ	2,358 t	9位

徳島県 生産量: 17,857 t			
	魚 種	生産量	全国順位
1	わかめ類(養)	3,713 t	3位
2	ぶり(養)	3,298 t	9位
3	しらす	2,881 t	6位
4	くろのり(養)	740 t	13位
5	さめ類	663 t	8位
6	かつお	660 t	17位
7	ぶり類	655 t	25位
8	びんなが	468 t	14位
9	かたくちいわし	409 t	17位
10	かんぱち(養)	344 t	7位

資料: 農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

注: (養)は海面養殖業による生産量であることを表しています。